

2024 年度(令和 6 年度)  
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島  
事業報告書

2025 年 3 月 31 日

高島市今津町中沼一丁目4-1  
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

## 目次

### 事業の成果と課題

#### I.法人運営

#### II.たかしま市民協働交流事業

##### 1.情報発信集積事業

- (1)情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2)市民活動団体情報の集積
- (3)WEB 情報発信

##### 2. 相談支援事業

- (1)相談件数
- (2)表彰の推薦など
- (3)コピー・大判プリント等対応記録

##### 3. 協働提案事業

- (1)協働実施支援
- (2)応募相談
- (3)審査会
- (4)採択団体と担当課協議
- (5)成果報告会

##### 4. 市民活動団体・人材の育成

- (1)ニーズ把握
- (2)市民活動に関する講座の開催
- (3)市民活動に興味ある人をつなぐ場づくり

##### 5. 住民自治協議会支援事業

- (1)自治協支援に関する打合せ・巡回ヒアリング
- (2)自治協議会交流会の実施
  - ①会長交流会
  - ②事務局交流会
  - ③自治協議会全体交流会
- (3)自治協議会事務局支援
- (4)自治協議会連絡会議運営サポート
- (5)その他

##### 6. 市民協働交流事業

- (1)たかしま市民活動フェスタ 2024
- (2)参加団体交流事業

## **7. 研修等参加記録**

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録
- (3) 講師依頼等対応記録

## **Ⅲ.生活支援コーディネーター**

- (1) NPO 団体・ボランティア団体への支援
- (2) 地域ニーズの把握
- (3) 地域資源の見える化
  - ① ブログ掲載
  - ② 「たかしまお役立ち情報」の発行
  - ③ 「あったか支え合い通信」の発行
- (4) 地域住民の活動への情報提供や住民同士がつながるための活動支援
- (5) 生活支援体制整備協議体会議・定例会
  - ① 第1層協議体会議
  - ② 生活支援コーディネーター定例会
  - ③ 第2層協議体会議
- (7) 研修会等参加

## **Ⅳ.関係人口創出・拡大推進事業**

- (1) 高島縁人コーディネート会議
- (2) 団体サポーター（高島縁人受入れ団体、地域）の発掘
- (3) 情報発信
- (4) オンラインイベント
- (5) 高島縁人「こども記者クラブ」

## **Ⅴ.たかしまの森へ行こう！プロジェクト**

- 1. 綾羽工業の河辺林について

## **Ⅵ.コミュニティ事業**

- 1. 郷土料理教室
- 2. みんなのほんだな
- 3. 市制 20 周年記念事業 「中高生と未来を語ろう 夏休み最後の日曜日チャレンジ」
- 4. 映画「ヒゲの校長」高島市上映会&アフタートーク

## 2024年度 事後の成果と課題

法人運営では、まちづくり講演会で「東近江三方よし基金」の設立の経緯や思いをご講演いただいた。高島市においてもお金を地域で循環させる仕組みをつくりたいと伝える機会になった。一方、会員を増やす入会案内活動がほとんどできず、正会員3名増、賛助会員1名増だった。法人への理解を広げるために入会案内をしていく必要がある。

### (1) たかしま市民協働交流事業

今年度は新しいスタッフの配置を行った。スタッフの中間支援組織への理解や相談スキルを伸ばす目的で、研修や県内市民活動支援センター意見交換会などへ参加を促した。業務への理解や相談対応力が伸び、新しい団体や個人とのつながりが広がった。

情報発信では、団体や事業者への取材をとおして関係性を作り、市民活動フェスタへの参加につなげることができた。特に「伝言板」では、全戸配布に効果を感じた団体がリピーターとして掲載希望が増加した。また新しい団体からの希望も増えた。ホームページの市内団体一覧に取材した団体を加えることができた。団体リストの内容更新が完了できず、団体への確認と更新作業が次年度持ち越しとなった。

相談事業は、相談から共催開催や実行委員会の立ち上げと事務局を担うなど、伴走支援を行うことができた。移住者からの相談が増えている。助成金や活動継続のための資金に関する相談も例年並みにあり、活動を継続するための資金に関する講座を企画し、相談者の参加が見られた。自治協議会からの実務や運営に関する相談も増加し、対応できた。

協働提案事業では、提案団体と担当課の打合せに参加し、企画内容や広報について支援することができた。提案団体に対し、市民活動フェスタへの参加、広報ツールの作成、情報発信など広報力アップを支援することができた。

市民活動団体と人材の育成では、市民活動のためのスキル講座として、継続的な活動のためのお金に関する講座を企画した。また相談対応からチラシや情報紙の作成についてもニーズが見えたことから「プロから学ぶ、伝わるチラシ・情報紙のつくり方講座」を企画した。どちらの講座も参加者から好評だった。

人をつなぐ場づくりは市内各地で開催できた。少人数ながら多様な参加者で話題も広く、参加者同士がその後もつながっているということも聞こえてきた。人をつなぐ場として効果があると感じられた。また自治会の無い地域での人のつながりの場も継続的に支援し、一年間の実施で地域に少しずつ定着してきたのを感じられた。

住民自治協議会は事業開始3年目となり、市民活動フェスタでの出展や今津東コミュニティセンターでの展示、全体交流会は公開で市民参加を呼びかけ、グループワークなどをとおして自治協議会への理解を広める機会にすることができた。

各地域それぞれの特色ある事業が展開されており、会長交流会や全体交流会などでの情報共有を意識して行った。また会長交流会でニーズ把握を行い、課題感に合った交流会を開催できた。会計処理や税務処理に不安を感じる事務局への支援ができ、事務局交流会では交付金の扱いについて市民協働課からの説明機会を作り、全体で共通の理解が進んだ。

協働交流事業は、市民活動フェスタを実行委員会とともに開催することができた。安曇川公民館での開催を準備していたが、施設工事期間が重なることになり、今津東コミュニティセンターでの開催に変更した。参加団体同士のつながりづくりとして開催する「つながりカフェ」は災害時に何かできるかを意識するグループワークなどを行い、参加者同士の対話をとおして協力し合える関係性を作ること意識し実施できた。

開催当日の来場者アンケートはプレゼント抽選と連動させることで 200 名以上からの回答があった。来場者の声を次年度に活かしたい。参加団体アンケートやふりかえり会での意見、アイデアについても、次年度の企画などに活かしたい。

## （２）生活支援コーディネーター

昨年度に引き続き、高齢者の移動課題をテーマに取り組んだ。バスの乗り方体験会を開催し、バスの仕組み理解を促すことができた。また協議体会議では、市内の社会福祉法人による移動支援の事例から各地域で取り組みを考えるワークショップを行った。この会議をきっかけに地域の介護事業所と移動支援を具体化しようという動きが出てきた。

スマホ相談会は区・自治会、趣味のサークルなど多様なニーズに対応できた。市内の高校も地域との関わりを求めており、スマホ相談会を入り口につがなりをつくれた。

## （３）関係人口創出・拡大推進事業

関係人口の意義を理解し受入れる市民団体を増やすことができ、これらの団体が主催するイベントの広報を支援することができた。次年度は、市民団体のニーズに合った関係人口を増やす支援につなげたい。

新規事業として「こども記者クラブ」を実施した。子どもの目線で市民団体取材し、新聞をつくることができた。関係人口と市内の魅力に気づく事業として継続していく。

## （４）たかしまの森へ行こう！プロジェクト

カワウの大規模な営巣地となっている綾羽工業の河辺林で、植生や動物の生息などの現状調査を開始することができた。高島市、滋賀県、琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県立大学など関係機関と協力体制を構築することができた。調査は５月まで継続する。

## （５）コミュニティ事業

滋賀県水産課の協力を得ながら継続している鮒ずし漬け体験は、参加者が定着し、参加者同士のつながりも生まれている。「中高生の夏休み最後の日曜日チャレンジ」は参加者が少なく残念だったが、大学の協力で充実した活動になった。映画「ヒゲの校長」高島市上映会は実行委員会の中で人や組織のつながりを作ることができた。

## I. 法人運営

### <目標>

理事会や総会において、出席者がアイデアや事業全体について十分に意見を出し合える時間を持ち事業に活かす。

まちづくり講演会では、当法人がめざすこれからのまちづくりに向けた情報を提供する機会とし、参加する市民にも共感を広げる。

### <成果>

理事会および総会において、ざくばらんに意見交換できる時間を持つことができた。その意見から事業の組み立ての参考にすることができた。

まちづくり講演会は、第4期高島市まちづくり推進会議でも提案があったコミュニティファンドについて、東近江三方よし基金の設立経緯や事業、まちの変化などについて講演いただき、多くの参加者の関心を高めることができた。

#### 1. 会員数

正会員 22 名、賛助会員 14 名（団体、個人）（2025 年 5 月）

#### 2. 理事会・総会

第1回 4月12日（月）19:30～21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

理事総数 9 名：出席者 6 名、欠席者 3 名

議題・2024 年度(令和 6 年度)事業計画(案)

・2024 年度(令和 6 年度)予算(案)

相談・市制 20 周年記念事業について

・市民活動に関心ある人がつながる場づくり

・まちづくり講演会について

・綾羽工業の河辺林の今年度の関わり

監 査 5月28日(木)18:00～20:00

今津東コミュニティセンター 会議室 2

第2回 5月30日（木）19:30～21:30

今津東コミュニティセンター 会議室 2

理事総数 9 名：出席者 6 名、欠席者 3 名

議題・2023 年度(令和 5 年度)事業報告について

・2023 年度(令和 5 年度)収支決算について

・2024 年度(令和 6 年度)事業計画および予算の一部変更について

・理事の選任および代表の互選について

相談・まちづくり講演会について

・中高生と未来を語ろう「夏休み最後の日曜日チャレンジ進捗

・綾羽工業の河辺林の進捗

総 会 6月29日(土) 14:00~16:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

正会員総数 21 名：出席者 9 名、委任状 3 名、欠席者 3 名

監事 2 名：出席 1 名

賛助会員 13 名：出席 2 名

議題・2023 年度(令和 5 年度)事業報告(案)

・2023 年度(令和 5 年度)決算報告(案)

報告・2024 年度(令和 6 年度)事業計画

・2024 年度(令和 6 年度)予算

・役員改選

※終了後、高島市協働のまちづくり推進指針策定の状況など、参加者との情報交換をした。

第 3 回 11 月 25 日(月) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 会議室 2

理事総数 8 名：出席者 7 名、欠席者 1 名

議題・就業規則の改訂について

・謝金規定の改訂について

相談・たかしま市民活動フェスタ 2024 進捗

・高島縁人バーチャル高島の冬の交流イベント進捗

・生活支援 C・高齢者の移動に関する取り組み進捗

・映画「ヒゲの校長」上映実行委員会について

・綾羽工業の河辺林調査の進捗

第 4 回 2025 年 2 月 25 日(火) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

理事総数 8 名：出席者 6 名、欠席者 2 名

・2025 年度(令和 7 年度)事業計画について

### 3. まちづくり講演会

「こんなまちにしたい!」を実現する仕組み「東近江三方よし基金」

10 月 27 日(日) 13:30~15:30

今津東コミュニティセンター 3 階ホール

講師 山口美知子さん

公益財団法人東近江三方よし基金常務理事

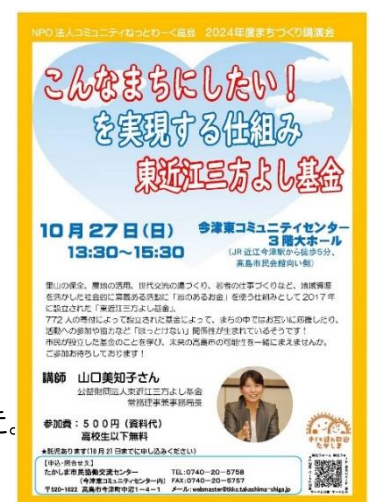
兼 業務執行理事・事務局長

講演後、ワールドカフェ「高島市の応援したい活動」

参加費 500 円、参加者 11 名

感想

- ・高島にも同様のプロジェクトができれば応援したい
- ・地域で流れるお金の見える化、意識化が大切だと感じた。



## Ⅱ. たかしま市民協働交流事業

### 1. 情報発信集積事業

#### (1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

##### <目標>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業を取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、また団体やグループが紙面をとおしてつながることを目的に作成、配布する。

- ・表紙で協働提案事業 4 件を掲載し、協働活動への理解を広げる。
- ・伝言板は、掲載団体が固定化しないよう多様な団体の掲載をめざす。

##### <成果>

当初の計画の通り、年間 4 回の発行ができた。

表紙では、今年度協働提案事業のうち4件の紹介ができた。

伝言板については、計 42 団体、延べ54 件の情報を掲載した。新規に掲載を依頼された団体は 18 団体あった。掲載団体からは「問い合わせやイベント来場者が増えた」「新たな会員の申し込みがあった」等の声が届いた。

昨年度まで別に印刷していた「本体」A4-4 ページと市民活動団体情報を掲載する「伝言板」A4- 両面を、今年度から統合して A4- 6 ページとして発行し、配布しやすくなった。

配布先は、保健センターの統廃合や施設・店舗の閉鎖、閉店等により、7 減となり 103 か所となった。各施設の配布数を精査し、発行部数を減らしたが、新たな配布先を開拓し広い周知を図ってきた。

#### ① 発行・配布実績

発行部数：63 号 18,000 部 64 号～66 号 17,000 部

各事業所や施設等への配布枚数を精査することにより 64 号から発行部数を 17,000 部とした。

配布先：市内全戸、市内公共施設、市内金融機関(銀行、J A、郵便局)、市内小中学校、市内観光施設、JR 駅構内観光案内所、市内設置協力施設および企業・店舗等

#### ② 紙面構成 本誌 (A4 仕上げ三つ折り6ページ)

63 号より三つ折り 6 ページとし、伝言板と一体化させた。

1 ページ(表紙) 協働提案事業紹介

2 ページ 「はっけん! きらっと市民活動 in たかしま」 市民活動団体の紹介 2 団体

3 ページ 「地域とともにつながる事業所」

地域貢献に意識の高い事業者に取材し、経営理念や地域への想いを伝える

「市民活動質問箱」相談業務の実績から市民活動に関する疑問・質問に関する情報提供など

4、5 ページ 伝言板(市民活動団体、ボランティアグループ等のメンバー募集やイベント案の告知を掲載。)

6 ページ (裏表紙) 当センター事業告知

### ③ 掲載内容

#### ◆63号（7月1日発行）

##### 1. 表紙：高島市協働提案事業

「びわこ雫の里山プロジェクト～住民による里山森林整備で地域活性化へ～」

高島の森ー未来につなぐ山守を考える会（高島山守会）、高島市役所 森林水産課・  
市民協働課定住推進室

##### 2. 市内活動団体紹介＜2団体＞（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）

NPO 法人たかしま地域包括ケア研究会、高島ウインドアンサンブル

##### 3. 地域とともにつながる事業所

株式会社 栄

##### 4. 市民活動質問箱

「これまでに受けた相談をご紹介します」

##### 5. インフォメーション

- ・たかしま市民活動フェスタ 参加団体募集
- ・高島みんなのつながりカフェ
- ・たかしま市民協働交流センター スタッフ紹介
- ・有料広告 2 件

##### 6. おむすび・たかしま伝言板 市民活動情報 計16件（新規団体：5）

①BIWAKO お掃除隊 新②オール高島少年野球クラブ ③たかしま森林セラピー

④らくらくピアノ ⑤FEC 自給圏ネットワーク新⑥森の実験室 新⑦Pivot

新⑧Hari-Ori ⑨高島クラブ TWIKLE STARS ⑩うたごえ浜かぜ ⑪街中美化

活動「はなのみち」新⑫髪人の在宅介護者を輝かせる会 ⑬NPO 法人元気な仲間

⑭おかたづけの会 ⑮湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 ⑯たかしま結びと育ちの応援団

#### ◆64号（10月1日発行）

##### 1. 表紙：高島市協働提案事業

「たかしまの里山・地域資源発掘プロジェクト

～木を活用した事業で人と里山をつなぐ～」

森の実験室、高島市役所 森林水産課

##### 2. 市内活動団体紹介＜2団体＞（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）

朽木災害ボランティア隊、高島市ニャンコの未来

##### 3. 地域とともにつながる事業所

株式会社 薪来歩-makilife-

##### 4. 市民活動質問箱

「これまでに受けた相談をご紹介します」

##### 5. インフォメーション

- ・たかしま市民活動フェスタ
- ・高島みんなのつながりカフェ
- ・まちづくり講演会のお知らせ

- ・高齢者の移動手段を共に考えましょう
  - ・有料広告1件
6. おむすび・たかしま伝言板 市民活動情報 計16件（新規団体：4）
- ① たかしまおもちゃ病院 ②手ではなそう ③安曇川 男の料理クラブ
  - 新④京阪82号保存会 ⑤森林公園くつきの森 ⑥オール高島少年野球クラブ
  - ⑦NPO 法人絵本による街づくりの会 新⑧宮の森公園クリーンアップの会
  - ⑨湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 新⑩輪っしょい！高島まつり保存会
  - ⑪たかしま森林セラピー ⑫男のまかないクラブ ⑬Pivot
  - ⑭結いの里・椋川 ⑮南深清水FF倶楽部 新⑯たかしまの水と空気を守る会

◆65号（1月1日発行）

- 表紙：高島市協働提案事業  
「スポーツの可能性を広げる、新しいウォーキングイベントの開催」  
NPO 法人 TSC、高島市教育委員会事務局 市民スポーツ課
- 市内活動団体紹介＜2 団体＞（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）  
高島の盆踊り歌保存会、宮の森公園クリーンアップの会
- 地域とともにつながる事業所  
株式会社 七黒
- 市民活動質問箱  
「映画上映会を実施して、手話への理解を広めたいのですが」
- インフォメーション
  - ・プロから学ぶ伝わる情報誌・チラシの作り方講座
  - ・高島みんなのつながりカフェ
  - ・「みんなのほんだな」を整理します
  - ・高齢者の移動手段を共に考えましょう
- おむすび・たかしま伝言板 市民活動情報 計16件 （新規団体：5）
  - ① NPO 法人絵本による街づくりの会 ②安曇川 男の料理クラブ 新③高島青年協議会 新④あどがわ女性の会 新⑤高島市今津地域住民自治協議会
  - ⑥森の実験室 新⑦一般社団法人ぼくみん ⑧こころのかけはし⑨おかたづけバザーの会 ⑩たかしま結びと育ちの応援団 ⑪湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部
  - ⑫たかしまおもちゃ病院 新⑬高島青年農業クラブ ⑭手ではなそう ⑮たかしま森林セラピー ⑯NPO 法人コミュニティねっとわーく高島たかしま

◆66号（4月1日発行）

- 表紙：高島市協働提案事業  
「たかしまでライフワークを叶える」プロジェクト  
Pivot たかしまライフワーク Sta.、高島市役所 商工観光部商工振興課
- 市内活動団体紹介＜2 団体＞（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）  
児童育成支援の会「セカンドホーム未来」実行委員会、琵琶湖周航の歌の会

### 3. 地域とともにつながる事業所

O-BAT FACTORY

### 4. 市民活動質問箱

「講演会を開催したいが、どんな手順で準備するといいか？」

### 5. インフォメーション

- ・たかしま市民協働交流センターにご相談ください
- ・たかしま市民協働交流センターをご利用ください
- ・「たかしま市民活動フェスタ2025」実行委員会のメンバーの募集
- ・有料広告2件

### 6. おむすび・たかしま伝言板 市民活動情報 計16件（新規団体：4）

**新**①卓球マーガレット ②宮の森クリーンアップの会 ③今津山上会 **新**④新旭美術クラブ **新**⑤高島陶芸クラブ ⑥たかしま男の料理クラブ **新**⑦高島ふれあい元気クラブ ⑧NPO 法人絵本よる街づくりの会 ⑨手ではなそう ⑩森林公園くつきの森 ⑪らくらくピアノサークル ⑫高島市の図書館考える会 ⑬たかしま森林セラピー ⑭たかしまおもちゃ病院 ⑮あどがわ女性の会 ⑯男のまかないクラブ

63号

64号

65号

66号



たかしま市民協働交流センターホームページ  
情報誌ページにてPDFを掲載

<http://tkkc.takashima-shiga.jp/report.html>



## (2) 市民活動団体情報の蓄積・整理

### <目標>

ホームページで市民活動団体およびボランティアグループ等をカテゴリーに分類し、各団体の連絡先や活動内容を掲載する。情報誌などで取材した団体を順次掲載していく。掲載団体に内容の確認を行い更新する。

## <成果>

掲載団体は、取材した団体のうち 7 団体を新たに掲載することができた。また各住民自治協議会は順次ホームページなどが公開され、当センターホームページからリンクすることができた。解散や市外へ拠点を移した団体が 2 団体あった。掲載内容の変更時に連絡される団体もあるが、全ての団体に連絡先等掲載内容確認をすることができなかったため、次年度早々に確認作業を行いたい。

カテゴリー：16 掲載団体数：119（対前年比 4 団体増）

|       |    |        |    |        |    |
|-------|----|--------|----|--------|----|
| 子育て支援 | 10 | 子どもの体験 | 11 | 学童保育   | 5  |
| 青年    | 2  | 女性支援   | 0  | 文化・歴史  | 20 |
| 災害    | 4  | 福祉・保健  | 27 | ボランティア | 4  |
| 環境・自然 | 18 | 移住促進   | 1  | 国際     | 0  |
| まちづくり | 4  | 自治協議会  | 6  | 地域づくり  | 5  |
| 起業支援  | 1  |        |    |        |    |

## (3) WEB 情報発信

### <目標>

ホームページでは、当センターの活動を広報するため、基本情報、利用案内、事業報告と決算、情報誌のバックナンバーなどを掲載。市民活動団体のイベント情報、市民活動団体に向けての研修や助成金情報をタイムリーにブログに掲載し、同時にフェイスブックとインスタグラムで拡散する。月 2 回のメルマガで登録者へ発信する。

- ・メルマガ登録者数を増やす
- ・助成金情報などは相談事業にも活用する

### <成果>

- ・ブログ掲載内容はフェイスブックおよびインスタグラムで同時に発信し、1 日のアクセス数は 50～100 件程度あり、市民活動等の関心層に拡散することができた。
- ・急なイベント告知依頼にも対応し、イベントの周知や集客につなげることができた。
- ・6 月からブログに掲載した市内の市民活動イベント情報をホームページトップにあるカレンダーにも掲載し、市内のイベント開催状況が把握しやすくなった。

### ①ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

事業報告、利用案内、情報誌「おむすび・たかしま」バックナンバー、市内の市民活動団体一覧などなどを掲載した。



② ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

当センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。



＜2024 年度 掲載実績＞

|               |       |
|---------------|-------|
| センターからのお知らせ   | 21 件  |
| 助成金情報         | 180 件 |
| 高島市の市民活動情報    | 152 件 |
| 滋賀県・全国の市民活動情報 | 32 件  |
| ボランティア募集情報    | 1 件   |
| 行政、企業からのお知らせ  | 10 件  |
| 滋賀県他からのお知らせ   | 14 件  |
| 計             | 410 件 |
| ※ 対前年度 22 件減  |       |



③ フェイスブック：<https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>

主にブログに掲載した情報の拡散に活用するとともに、高島市内の市民団体のフェイスブックの記事のシェアを行ない、情報発信の支援を行なった。



④ インスタグラム <https://www.instagram.com/t.koryucenter/>  
フェイスブックと連動し、ブログ掲載情報を発信することができた。



⑤ メールマガジン

受信登録件数：186 件（2025 年 3 月末現在）

発行回数：24 回（月 2 回発行）

内容：当センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

## 2. 相談支援事業

### <目標>

団体の自立的、持続的な活動支援を目的に相談対応にあたる。個人の相談についても、市民活動の種であり、まちでやってみたい活動などを伴走しながら実現を支援していく。

活動への思いを伝えるための広報の重要性を伝え、チラシ作成などを支援する。団体設立では活動によってどんな地域社会の変化をめざすのかを言葉にすること、会則づくりなどを仲間と十分に話し合うことを伝える。資金に関する相談では、助成金申請や寄付の集め方など、相談者にスキルが残るようサポートする。団体相互の連携、公的機関とのつなぎなど相談者のネットワークを広げるよう意識する。

### <成果>

今年は、相談から実現に向けて伴走していくケースが2件あった。今津サンブリッジホテルからの相談はと映画「ヒゲの校長」を高島市で上映したいという相談については、共催や実行委員会立ち上げなど、ともに汗をかき実現することができた。

また、市民活動フェスタのチラシを県内大学のボランティアセンターなどにも配布したことがきっかけで、学生ボランティア受け入れについて団体につながることができ、毎年來られる大学生のボランティア活動分野が広がった。

昨年つながったお試し暮らし体験された方は、兵庫県での子どもの野外活動や京阪神の子どもと高島市の子どもとの交流など企画の広報依頼が定期的にあり、継続的に対応できた。

今年は昨年以上に個人の方からの相談が多く、移住や結婚で高島市に來られた方からの相談対応で、参加できるボランティア活動や実行したい企画の組み立て方などについてサポートできた。

新規で協働提案事業を検討されている方からの相談では、今年の募集は実施されないため、協働したい行政部局への打診や相談など下準備を進めるための支援ができた。

各地域住民自治協議会の税務や会計に関する相談へ対応できた。また新たな事務員を迎えた協議会に対しては、時間をかけて会計や税務の基礎を説明することができた。

自治協議会から高齢者の移動についての視察先紹介の依頼があり、近隣府県の市民による移動支援などの事例を紹介し、福井県へ視察された。また、県内市民活動支援センターの研修的な集まりにおいて、自治組織への中間支援組織の関わりや支援について情報提供依頼があり、高島市における事例として説明することができた。

助成金についての相談は例年とおりの件数があり、市民活動やまちづくり活動のための資金に関する講座を開催した。

滋賀県市町村振興協会主催の「おうみ社会貢献賞」へは1団体を推薦し受賞された。

総務省主催の「ふるさとづくり大賞」へも1団体を推薦し受賞された。

(1) 相談件数 121 件 (92.5 時間)

|    | 相談内容                   | 件数 | 時間数  |
|----|------------------------|----|------|
| 1  | NPO 法人・NPO 設立          | 0  | 0    |
| 2  | NPO 法人・NPO 解散          | 0  | 0    |
| 3  | コーディネート（団体等へのマッチング・紹介） | 38 | 24.5 |
| 4  | 資金（助成金・寄付）             | 8  | 5    |
| 5  | 実務（経理、税理、労務など）         | 23 | 28.5 |
| 6  | 協働（協働提案事業関連含む）         | 6  | 4    |
| 7  | 事業計画                   | 11 | 5.5  |
| 8  | 情報発信                   | 10 | 7    |
| 9  | 組織運営（規約、会計、会議運営など）     | 2  | 1.5  |
| 10 | センターの活動について            | 3  | 2    |
| 11 | その他                    | 20 | 14.5 |

相談組織

|     | 組織        | の件数 |    | 組織     | の件数 |
|-----|-----------|-----|----|--------|-----|
| 1   | NPO 法人    | 7   | 6  | 社会福祉法人 | 6   |
| 2   | 任意団体      | 30  | 7  | 公的機関   | 4   |
| 3   | 地縁組織      | 5   | 8  | 教育機関   | 3   |
| 3-1 | 住民自治協議会   | 25  | 9  | その他    | 0   |
| 4   | 財団法人・社団法人 | 1   | 10 | 個人     | 26  |
| 5   | 営利事業者     | 14  |    |        |     |

○継続相談について

① 今津サンブリッジホテル「地域の交流とまちの文化祭」（2月8日～9日）

相談は、30 周年を迎えるにあたり、多くの市民がホテルに来られる機会を作りたいと考えている。高校生の発表や市民活動団体の体験や販売などのイベントを開きたい。交流センターのホームページにある市民活動団体一覧から団体を紹介してほしい、というものであった。市民活動フェスタ参加団体の中から体験や販売などで対応可能な団体リストを作成し提供した。

12 月下旬、開催日程や大まかなプログラムと出展できる団体数が決まり、リストの団体に参加を呼びかたところ 10 団体が参加された。イベント当日は、市内の高校、企業、個人などの発表や出店もあり、大雪ではあったが賑やかに開催された。2 日間で来場約 450 名だった。

募集開始から開催まで 1 ヶ月以下の日程で、準備ができず参加を諦める団体もあった。次年度開催される場合は 2 ヶ月以上の募集期間を取ってほしいと伝えた。



## ② 映画「ヒゲの校長」高島市上映会&アフタートーク（3月29日）

100年前の日本で手話を守った高橋潔校長と仲間と家族の物語である映画を高島市で上映したいと主演の尾中友哉さん、NPO 法人元気な仲間から相談があった。尾中さんの両親(ろう者)が高島市に移住され、高島市でも聴覚障がい者への理解を広めるきっかけにできればと上映会の開催を検討されたとのこと。

市内にある手話サークル主催者や当事者団体にもつなぎ、時間をかけて実行委員会でつながりを広げ上映会を実施することを提案。当センターは主に事務局として実行委員会に参加し、11月の試写会、実行委員会立ち上げ、上映会実施をサポートした。

実行委員会参加の団体・個人 20名

協賛団体・個人 84名

上映会来場者数 約400名

主催：映画「ヒゲの校長」高島市上映実行委員会

共催：高島市

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、高島市教育委員会、  
高島市社会福祉協議会

※実行委員会の詳細はVI.コミュニティ事業に掲載



## ③ 高島市花のまちづくりグループ展示会（10月29日～11月8日）

昨年度の相談対応で実施した「花づくりグループ交流会」の参加者から、せっかく交流したので何か一緒にできることを考えてほしいと相談があり、今津東コミュニティセンターの展示スペースでの活動紹介展示会を提案した。交流会参加団体以外の花づくりグループも募集し、展示会を実施した。

参加は3グループだったが、新しいグループとの出会いができた。



## ④ 宮の森公園クリーンアップの会

2022年から宮の森公園近隣の住民が、高島市と相談しながら公園の雑草と樹木の管理を始めた。助成金取得の支援を継続したが、高島市から活動実績が認められ、公園管理業務の一部を受託することになった。今年度はメンバー募集のチラシ作成および情報誌おむすび・たかしま伝言板での情報発信を支援した。

(2) 表彰の推薦など

- ① 公益財団法人滋賀県市町村振興協会主催「第 13 回おうみ社会貢献賞」へ下記団体を推薦したところ、受賞された。

第 13 回おうみ社会貢献賞 高島の盆踊り歌保存会

- ② 総務省主催「令和 6 年度ふるさとづくり大賞」へ下記団体を推薦したところ、団体表彰を受賞された。

令和 6 年度ふるさとづくり大賞 団体表彰（総務大臣表彰） 針江生水の郷委員会

(3) コピー・大判プリント等対応記録

- ① コピー・大判プリントの対応 213 件

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 28 | 19 | 15 | 16 | 12 | 10 | 28  | 31  | 9   | 17 | 11 | 17 |

- ② 機材貸出 5 件（プロジェクター貸出 5 件）

### 3. 協働提案事業

#### <目標>

実施中の協働提案事業について、担当課と提案団体にヒアリングしながら、適切な支援を行っていく。情報誌で協働提案事業を掲載し、市民に伝える機会を持つ。イベント開催情報はチラシの配布、当センターの情報誌や SNS などで情報発信する。

次年度に継続する協働提案については、次への展開と継続を意識した支援を行う。

#### <成果>

5 件の協働事業について、担当課と提案者に適宜ヒアリングしながら連携状況などを確認し、事業の実施を支援することができた。イベント開催の際は、できるだけ早めにチラシなど開催情報を得て情報発信を行うことができた。情報誌おむすびたかしまの表紙で 4 件の事業を紹介し、市民に広報することができた。発信力を課題とされていた提案者には、情報誌の伝言板での活動 PR、市民活動フェスタへの出展などを促し、情報発信への意欲が高まった。

今年度で協働提案を終了される事業については、提案団体と担当課に次年度以降の継続方法について確認し、事業継続や展開のために今後も必要な支援を続ける。

#### (1) 協働実施支援

※実施されるイベント、講座情報などは当センター SNS などで情報発信、チラシの配布等をした。

##### 【たかしまの里山・地域資源発掘プロジェクト

～木を活用した事業で人と里山をつなぐ～】(市民提案、一年目)

提案団体：森の実験室 担当課：森林水産課

|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 4 月 26 日  | 講座参加者イメージ、スケジュール確認など        |
| 6 月 3 日   | 講座の内容、スケジュール確認など            |
| 7 月       | 情報誌おむすび・たかしま 63 号伝言板にて参加者募集 |
| 7 月 30 日  | 進捗確認、マルシェ出店者情報共有など          |
| 9 月 18 日  | 森カフェふりかえり、参加者・スケジュール確認など    |
| 10 月      | 情報誌おむすび・たかしま 64 号にて事業紹介     |
| 10 月 11 日 | 里山とつながる！チェーンソー講座参加          |
| 11 月 3 日  | 木とつながるマルシェ 会場見学             |
| 11 月 12 日 | 中間点検                        |
| 3 月 24 日  | 次年度事業、スケジュール打合せ             |

##### 【びわこ雫の里山プロジェクトー住民による里山森林整備で地域活性化へ】

(市民提案、一年目)

提案団体：高島の森-未来につなぐ山守を考える会

担当課：森林水産課、市民協働課

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 6 月 23 日 | びわ湖源流の里山づくりフォーラム 参加     |
| 7 月      | 情報誌おむすび・たかしま 63 号にて事業紹介 |

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 10月30日 | 中間点検            |
| 3月17日  | 次年度事業、スケジュール打合せ |

【市内若手農家と市民の連携による農業マルシェの開催と農業関係人口の増加】

(行政提案、一年目)

提案団体：高島青年農業者クラブ

担当課：農業政策課

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 10月24日  | 中間点検                      |
| 12月1日   | 市民活動フェスタ出展                |
| 2025年1月 | 情報誌おむすび・たかしま 65号伝言板にて会員募集 |

【「たかしまでライフワークを叶える」プロジェクト】(市民提案、二年目)

提案団体：Pivot (たかしまライフワーク Sta.)

担当課：商工振興課

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 10月     | 情報誌おむすび・たかしま 64号伝言板にて参加者募集 |
| 10月30日  | 中間点検                       |
| 2025年4月 | 情報誌おむすび・たかしま 66号にて事業紹介     |

【スポーツの可能性を広げる 新しいウォーキングイベントの開催】

(行政提案、二年目)

提案団体：NPO 法人 TSC

担当課：市民スポーツ課

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 11月7日   | 中間点検                   |
| 2025年1月 | 情報誌おむすび・たかしま 65号にて事業紹介 |

## (2) 応募相談

市民団体から協働提案に関連する相談に対応した。

8月20日 高島市の図書館を考える会

10月16日 看護師・セラピス

## (3) 審査会

プレゼンテーション(2団体)、担当課ヒアリング、選考会、継続事業承認審査会においてアドバイザーとして対応した。

1月22日(水) 13:30~16:00 市役所

## (4) 採択団体と担当課協議

新年度のスムーズな事業開始のために、事業の目標、互いの役割、スケジュールなどを確認する機会において、ファシリテーターとして対応した。

採択団体 高島の森-未来につなぐ山守を考える会

事業名称 びわこ雫の里山プロジェクト～住民による里山森林整備で地域活性化へ～  
3月17日 市役所

採択団体 森の実験室

事業名称 たかしまの里山・地域資源発掘プロジェクト～木を活用した事業で人と里山をつなぐ～  
3月24日 市役所

#### (5) 成果報告会

アドバイザーとして参加

開催日：3月19日（水）13:00～16:00 高島市役所

報 告：①びわこ雫の里山プロジェクト～住民による里山森林整備で地域活性化へ～

高島の森-未来につなぐ山守を考える会 × 森林水産課・市民協働課

②たかしまの里山・地域資源発掘プロジェクト

～木を活用した事業で人と里山をつなぐ～

森の実験室 × 森林水産課

③市内若手農家と市民の連携による農業マルシェの開催と農業関係人口の増加

高島青年農業者クラブ × 農業政策課

④「たかしまでライフワークを叶える」プロジェクト

Pivot（たかしまライフワーク Sta.）× 商工振興課

⑤スポーツの可能性を広げる、新しいウォーキングイベントの開催

NPO 法人 TSC × 市民スポーツ課

#### 4. 市民活動団体・人材の育成

##### <目標>

相談支援事業から市民活動団体や自治組織のニーズに基づいた講座を企画し、団体のスムーズな運営や資金的な課題の支援につなげる。

人をつなぐ場づくりでは、定期的に市内各地で、なんでも話しやすい場を開いていく。また、昨年度から相談のある自治組織の無い地域での住民の集まる場づくりについて継続的に支援し定着をめざす。

##### <成果>

市民活動に関する講座では、設立したばかりの団体からの資金の相談や新たな活動を展開するための助成金の相談などがあり、活動を継続するためのお金の話を企画した。講師の方は、長年、県内の市民活動支援センターで団体支援をしてこられた方で助成金の審査などご経験もあり、参加者からは分かりやすい内容で好評だった。

また、チラシづくりや広報紙づくりに関する相談も複数あり、情報発信のプロの方に講師をしていただいた。参加者が作成したチラシにアドバイスをしながら、参加者も新たな気づきがある講座となった。また参加者がお互いの活動を知る機会にもなった。

安曇川町中央で活動が始まった「中央まちカフェ」は、高島市社会福祉協議会と連携しながら伴走支援を継続できた。中心的な役割の方が参加者の中から協力的な方に声をかけ、実行委員会ができ、継続的な活動になってきた。一年間のカフェ開催をとおして地域住民に認識されてきたと言える。情報発信の手段をチラシだけでなく SNS の利用も進めており、若い世代へも周知を拡げられるよう、継続して支援していきたい。

##### (1) 市民活動団体のニーズ把握

主に相談支援事業の中でニーズ把握を行っている。相談支援事業の中から市民活動に関する講座を企画した。また、各住民自治協議会のニーズについては、事務局の交流会やヒアリング、会長交流会などから情報を得て企画につなげた。

- ① 資金に関する講座では、新たに立ち上げた団体の継続的な運営のための資金の考え方や助成金申請するためのポイントなど、相談に対応する内容を丁寧にお話しいただいた。
- ② 伝わるチラシ・情報紙のつくり方講座では、チラシを作成したので見やすいかアドバイスしてほしいという相談が複数あり、お互いのチラシを見て互いに意見を出し合い気づきとなる講座の構成で進めていただいた。

##### (2) 市民活動に関する講座の開催

- ① 市民活動やボランティア活動、成長と継続のためのお金のはなし

日時：12月15日(日)14:00～15:30

会場：高島市観光物産プラザ（新旭公民館）2-A

講師：遠藤恵子さん（NPO 法人まちづくりスポット大津 理事）

参加費：500 円(資料代)

参加人数：8名

内容：参加者自己紹介、講義、質疑応答、参加者意見交換

質疑応答・意見交換

質問1) 活動への寄付をしたいと言っていた。どのようにお返しすればいいだろうか？

回答1) イベント広報のチラシに「〇〇さまよりご寄付いただきました」などご本人に了解を得て掲載。一年間の収支報告では、収入に寄付収入を記載。グループ内での共有はもちろんだが、寄付者へも年間報告をする。

他、助成金、クラウドファンディングについて など

参加者感想

- ・分かりやすい説明だった。個別の質問にも丁寧に回答いただき、勉強になった。
- ・これまでの自分の申請が助成を受けにくいと分かった

## ② プロから学ぶ！伝わるチラシ・情報紙の作り方講座

日時：2月22日(土)14:00～16:00

会場：高島市観光物産プラザ（新旭公民館）視聴覚室

講師：祖父江立美さん（うーぴ企画 代表）

参加費：500円

参加人数：8名

内容：参加者自己紹介、お互いのチラシ・情報紙から考えよう

編集とレイアウト、読ませる誌面の作り方、情報を伝えるための大事なポイントを学ぼう、情報発信は地域プロデューサー「人をつなぐ」ために地域情報を発信する

助成団体と面談

参加者感想

- ・自分が地域のプロデューサーという言葉にハッとしてそうでありたいと考えた。
- ・写真は枠からはみ出してもよいと教えていただき、ありがたかった。
- ・またぜひ講座開催をお願いします。



## (3) 市民活動に興味がある人をつなぐ場づくり

### (ア) 高島みんなのつながりカフェ

自己紹介の後、各自の気になること、聞きたいこと、PRしたいことなどを対話することで、人のつながりづくり、市民活動への理解や参加のきっかけとする。

① 7月2日(火)19:00-21:00 今津東コミュニティセンター

参加者7名

話題・赤い羽根募金の使いみちは？

- ・ボランティアで続けている親子の体験活動について

- ・市職員は市民の集まりに参加しないのはなぜ？ など

② 9月3日(火) 19:00-21:00 SUZAKI CAFÉ (今津)

参加者 5 名

話題・高島市の観光資源について

- ・高島市の高校生意識調査のこと
- ・婚活イベントのこと
- ・映画「ヒゲの校長」試写会のPR
- ・高島の盆踊りについて

③ 11月6日(水) 19:00-21:00 新旭駅前エスパ

参加者 2 名

話題・高島市のバスについて

④ 1月4日(火) 19:00-21:00 コティカフェ

参加者 4 名

話題・イベント「たかしまサーカス」PR

- ・市長候補者公開討論会について
- ・音楽発表会のこと
- ・高島市青年協議会のこと
- ・狩猟について

⑤ 3月4日(火) 19:00-21:00 高島公民館

参加者 1 名

話題・青年協議会について

- ・バスの現状と移動問題について



(イ) 中央まちカフェ「てきてく」支援

自治組織の無い安曇川町中央では住民が地域の気になることなどを話す機会が無い。集まる機会を持つことで住民の顔がつながり、普段から声かけあえる関係になれば、普段の暮らしも安心であり、災害などいざという時にも頼れる、そんな集まる機会を作りたいと住民から相談を受け、4月から月1回のカフェを開くための打合せと当日のサポートを、高島市社会福祉協議会の安曇川地域担当者とともに年間とおして行った。

一年間、中央まちカフェ「てきてく」を開催される中で、中心的な方が参加者に運営に声をかけられ、協力者が増え、実行委員会メンバーが増えてきた。



|                                                              |                    |                                                                      |
|--------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 4月21日(日)<br>10:00-12:00<br>(中央まちカフェ)                         | リハビリデイサービス<br>ひまわり | 参加者 25 名<br>初開催で多くの住民が参加し、地域のこと、趣味のこと、子どものこと、仕事のことなど賑やかに話が弾んでいた      |
| 5月7日(火)<br>16:00-17:30<br>(打合せ)                              | みらくる               | 4月21日のカフェふりかえり<br>次回(5月26日)の目的と内容、運営仲間集めについて                         |
| 6月13日(木)<br>14:00-16:00<br>(打合せ)                             | みらくる               | 5月26日のふりかえり<br>次回企画について、住宅地図を用意しそれぞれの家を知る、オカリナ演奏や七夕飾りづくりで子どもも楽しんでもらう |
| 6月30日(日)<br>10:00-12:00<br>(中央まちカフェ)                         | 安曇川公民館             | 参加者約 30 名<br>オカリナ演奏、七夕飾り作り、実行委員会の会則など相談、たかしまお役立ち情報紹介など<br>ふりかえり      |
| 7月11日(木)<br>10:00-12:00<br>(打合せ)                             | みらくる               | 6月30日のふりかえり<br>地域で気になること・野良猫問題・街灯が少ない・スクールガード不在など<br>12月までの開催スケジュール  |
| 9月5日(木)<br>10:00-11:30<br>(打合せ)                              | みらくる               | 9月、10月、11月のカフェの企画アイデア出し。チラシへの意見出し。実行委員会への参加希望者について                   |
| 9月29日(日)<br>10:00-12:00<br>(中央まちカフェ)<br>12:00-13:00<br>(打合せ) | 安曇川公民館             | 参加者約 20 名<br>災害支援ボランティアネットワークなまずの講演、民生委員児童委員について、情報交換<br>ふりかえり、次回打合せ |
| 10月26日(土)<br>10:00-12:00<br>(中央まちカフェ)                        | 児貝公園               | 参加者約 20 名<br>大地作業所の焼き芋販売、野外でカフェ、枯草集めとゴミ拾い                            |
| 11月29日(金)<br>10:00-11:30<br>(打合せ)                            | みらくる               | 11月のふりかえり、12月の企画について、1月休止、2月の開催予定について                                |

|                                     |      |                                   |
|-------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 1 月 30 日(木)<br>13:30-15:30<br>(打合せ) | みらくる | 12 月のふりかえり、3 月の企画<br>について、次年度年間計画 |
| 3 月 19 日(水)<br>16:00-17:30          | みらくる | 3 月のふりかえり、年間計画の日<br>程、企画について      |

## 5. 住民自治協議会支援事業

### <目標>

住民自治協議会(自治協)が事業を開始し3年目となる。市民に向けて自治協に関する情報発信を行い、各自治協について周知していく。

昨年に引き続き、会長交流会等で各自治協の運営や事業に関する情報共有の機会づくり、事務局の支援、会計等に関する情報共有や学習の機会づくりを行い、相互に学び合う関係をめざす。

全体交流会は、会長交流会においてニーズを聞き取り、ニーズに沿った内容を企画する。また一般市民にも参加を呼びかけ、自治協議会への理解を広める機会とする。

### <成果>

今年度も6地域の自治協会長交流会、事務局交流会・勉強会、全体交流会等を通して、互いの活動を知り、情報共有による学び合いの関係性を深めることができた。各自治協の独自性が明確になってきており、情報共有の重要性を感じた。独自性を伸ばしながら、基本となる持続可能な地域社会の自治の取り組みを共有していくことを意識した。

全体研修会では、地震や水害の多い今年、自治協の中には広域避難所運営会議への取り組みを模索しているとの声があり、県内の事例から学ぶ内容とした。東近江市の南部地区まちづくり協議会では、地域の区・自治会長に呼びかけ広域避難所運営会議を開催しているが、開催までの苦労や工夫、継続と展開などについて講演いただいた。講演後は、各地域でグループワークを行い、区・自治会の取り組みと自治協議会の取り組みを時系列で整理し、何から始めるのか考える機会になった。区・自治会役員や防災に関心を持つ市民も参加し、効果的な場になった。

### (1) 自治協支援に関する打合せ・巡回ヒアリング

#### ① 打合せ

4月17日(水)13:30~15:30 今津東コミュニティセンター  
市民協働課、交流センター

・年間スケジュール・各自治協の状況

6月4日(火)13:30~14:30 オンライン

アドバイザー(合同会社喜代七)、市民協働課、交流センター

・支援目標・年間スケジュール

#### ② 巡回ヒアリング

各自治協にヒアリングを行い、前年度事業と今年度事業から運営状況や課題を把握した。また市の地域担当職員の自治協における役割りや関わり方などについて状況を把握した。

アドバイザー 合同会社喜代七代表 山元圭太さん、市民協働課、交流センターでヒアリングを行った。

|                         |                         |                          |
|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 7月11日(木)<br>13:30~14:30 | 朽木地域住みよいまちづくり推進協議会      | 会長、副会長、事務局長              |
| 7月11日(木)<br>15:30~16:30 | 新旭住民自治協議会               | 事務局長、事務局員                |
| 7月11日(木)<br>17:30~19:30 | マキノまちづくり協議会             | 副会長、事務局長、事務局員            |
| 7月12日(金)<br>11:00~12:00 | 高島地域住民自治協議会             | 会長、副会長、役員2名              |
| 7月12日(金)<br>15:30~16:30 | 安曇川住民自治協議会              | 会長、事務局長、事務局員             |
| 7月12日(金)<br>13:30~14:30 | 今津地域住民自治協議会             | 事務局長、事務局員、今津支所まちづくり担当    |
| 7月12日(金)<br>16:30~17:30 | ヒアリングふりかえりと今後の支援について打合せ | アドバイザー、市民協働課長、担当者、交流センター |

#### <アドバイス>

- ・各自治協それぞれ独自の方向で進化している。
- ・設立時に立てた5か年のまちづくり計画の中間年であり、これまでの事業をふりかえり、次期計画を立てるスケジュールを考える機会を持つ研修が必要。
- ・空き家や空き農地が増加している地域では、地域住民の信頼感を高め、空き家や空き農地などをコモンズ(地域の共有資源)として預かり、管理し、利用したい人へのつなぎや適切に活用する仕組みがある。地域の持続可能性を高めることができるコモンズの仕組みをめざしてほしい。
- ・将来、まちづくり会社を検討している自治協においては、地域課題を複数の事業者が連携しビジネスで解決するローカル・ゼブラをめざしてほしい。
- ・関係性ができている区・自治会から、地域の祭りや地域資源を活かしてほしいと期待感が感じられた。

#### ③ 事務局ヒアリング

組織運営、会計管理に関するヒアリングおよび交付金報告に向けて帳簿等証拠書類の確認のため、市民協働課、交流センターでヒアリングを行った。

|                         |              |            |
|-------------------------|--------------|------------|
| 1月27日(月)<br>13:30~17:00 | 安曇川地域住民自治協議会 | 事務局長、事務局員  |
| 1月30(木)<br>9:00~12:00   | 高島地域住民自治協議会  | 事務局長       |
| 1月31日(金)<br>13:30~17:00 | 新旭地域住民自治協議会  | 事務局員       |
| 2月4日(火)<br>13:30~17:00  | マキノまちづくり協議会  | 事務局員、マキノ支所 |

|                         |                    |              |
|-------------------------|--------------------|--------------|
| 2月5日(水)<br>13:30~16:50  | 今津地域住民自治協議会        | 会長、事務局長、事務局員 |
| 2月14日(金)<br>13:30~17:15 | 朽木地域住みよいまちづくり推進協議会 | 事務局長         |

## (2) 自治協議会交流会の実施

### ①会長交流会

会長同士がざっくばらんに各自治協の運営上の工夫や悩みを共有することを目的に開催した。また市と協議したい事項や確認したい事項などについて情報交換する機会とした。

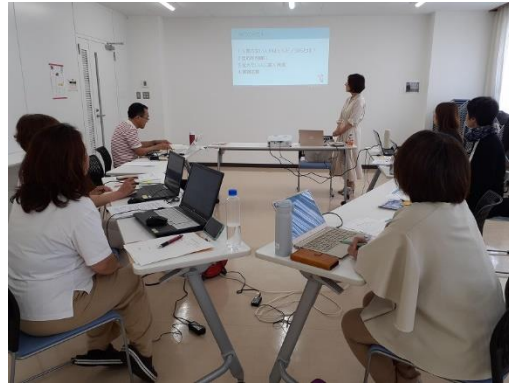
|                          |                    |                                                           |
|--------------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------|
| 6月7日(金)<br>14:30~16:30   | 新旭公民館              | 市制20周年記念事業について<br>全体研修、全体交流会、連絡会議について<br>各自治協状況共有         |
| 10月2日(水)<br>14:30~16:30  | 高島公民館              | 市制20周年記念事業報告<br>全体交流会の内容について<br>各自治協状況共有                  |
| 12月20日(金)<br>14:30~16:30 | 今津東コミュニティセンター      | 3月2日全体交流会について<br>各自治協状況共有                                 |
| 3月26日(水)<br>14:30~16:30  | マキノ土に学ぶ<br>里研修センター | 各自治協今年度ふりかえり<br>次年度会長交流会について<br>自治協連絡会議の話題について<br>その他意見交換 |

### ②事務局交流会

事務局同士の運営上の工夫や悩みを共有する目的で開催した。またニーズに沿ったテーマで研修を行った。

|                         |               |                                                                  |
|-------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------|
| 7月3日(水)<br>13:30~16:00  | 今津東コミュニティセンター | SNS勉強会 講師：田中可奈子さん<br>意見交換                                        |
| 10月9日(水)<br>15:00~17:00 | 今津東コミュニティセンター | 交付金進行状況、交付金変更申請、交付金事務<br>手引きについて<br>意見交換                         |
| 3月12日(水)<br>13:30~16:00 | 今津東コミュニティセンター | 次年度交付金申請、今年度交付金実績報告、交<br>付金事務手引きの内容について<br>次年度事務局交流会について<br>意見交換 |

7月3日 SNS勉強会の様子



### ③自治協全体交流会

自治協議会全体のテーマについて会長交流会でヒアリングを行ったところ、自治協議会で取り組む広域避難所運営会議や区・自治会への働きかけに課題を感じるのとこのことで、防災事業における住民自治協議会と区・自治会の役割りの違いや実践事例などを学ぶ目的で、東近江市の南部地区まちづくり協議会 暮らし安心部から講師を招き、開催した。また一般市民の参加も呼びかけ、自治協議会の活動への理解を広める機会とした。

「広域避難所運営会議 自治協議会の取り組みと区・自治会の取り組み」

開催日 3月2日(日)13:30～16:30

会場 今津東コミュニティセンター

内容 ・各自治協から防災の取り組み紹介

・「住民自治協議会が取り組む広域避難所運営会議」

東近江市南部地区まちづくり協議会 暮らし安全部長 北川憲司さん

・地域グループワーク

【区・自治会での取り組み】【自治協議会での取り組み】を考える

・全体共有

・アドバイザーから全体へコメント

参加者 35名(自治協28名、一般市民6名、市職員1名)

感想

- ・各地域の取り組みが分かり、よかった。グループワークでは地域の取り組みの悩みを聞くことができ、思いに共通する部分が多いことに気づいた。
- ・とても熱意を伝染してもらったお話だった。自分たちのことは自分たちでやる！自分たちの町は自分たちでつくる！自分たちの町は自分たちで守る！そんな気持ちと行動をつなげていきたい。
- ・自治協議会の活動内容が理解できました。自治会がない地域の防災対策をより具体的に検討していかなければならないと認識しました。
- ・北川さんの講演は具体的であったが、自分の住んでいる地域実態から考えると事前の体制と組織づくりをどうするかを考えていきたい。防災については、まだまだである。これを機会に、どの地域でも一歩進めばと考えた。



### (3) 事務局支援

事務局員の会計、労務他の相談などに対応した。

相談対応 25 件

| 月日     | 自治協 | 内容            |
|--------|-----|---------------|
| 4月3日   | マキノ | 運営について        |
| 4月4日   | 新旭  | 決算に関して        |
| 4月5日   | 新旭  | 決算に関して        |
| 4月11日  | 新旭  | 税務に関して        |
| 5月31日  | 今津  | 税務に関して        |
| 6月18日  | 新旭  | 税務に関して        |
| 7月11日  | マキノ | 会計講座について      |
| 7月16日  | マキノ | 会計講座について      |
| 7月22日  | マキノ | 会計講座①         |
| 7月29日  | マキノ | 会計講座②         |
| 8月5日   | マキノ | 会計講座③         |
| 8月19日  | マキノ | 会計講座④         |
| 9月2日   | 安曇川 | 視察先紹介(移動支援事例) |
| 9月18日  | 新旭  | 税務に関して        |
| 10月8日  | 新旭  | 会計に関して        |
| 11月14日 | 朽木  | 広報と人の紹介       |
| 12月11日 | 新旭  | 税務に関して        |
| 12月18日 | 朽木  | 税務に関して        |
| 1月14日  | 新旭  | 税務に関して        |
| 1月15日  | マキノ | 事業遂行に関して      |
| 1月24日  | 新旭  | 税務に関して        |
| 1月30日  | マキノ | 運営に関して        |
| 2月13日  | マキノ | 税務に関して        |
| 2月21日  | 新旭  | 会計に関して        |
| 2月27日  | マキノ | 会計に関して        |

(4) 自治協議会連絡会議運営サポート

ボランティアマネジメント研修（市主催）

12月9日(月)13:30～15:30 市役所

講師：呉 哲煥さん（NPO 法人 CR ファクトリー 代表理事）

当センターから2名参加し、グループワークをサポートした。

(5) その他

①各自治協議会 総会

4月27日 安曇川地域住民自治協議会（安曇川公民館）

5月11日 今津地域住民自治協議会（今津東コミュニティセンター）

5月18日 高島地域住民自治協議会（高島公民館）

5月18日 マキノまちづくり協議会（マキノ土に学ぶ里研修センター）

5月18日 新旭地域住民自治協議会（新旭公民館）

5月19日 朽木地域住みよいまちづくり推進協議会（朽木支所）

②高島地域住民自治協議会 理事会

5月9日 第14回理事会 高島公民館

11月14日 第17回理事会 高島公民館

1月16日 第18回理事会 高島公民館

③全体研修会（市主催）

市役所の住民自治協議会政策の中間ふりかえり

各住民自治協議会の中間ふりかえり

講師：山元圭太さん（合同会社喜代七 代表）

8月8日(木)9:00～12:00 市役所

当センターから2名参加し、グループワークをサポートした。

④長浜市市民協働部市民活躍課訪問

6月25日 長浜市役所

・地域づくり協議会への運営支援について

⑤各住民自治協議会活動紹介ポスター展示

たかしま市民活動フェスタ 2025

12月1日(日)10:00～15:00 今津東コミュニティセンター

高島市住民自治協議会紹介ポスター展

12月12日～1月16日 今津東コミュニティセンター

## 6. 市民協働交流事業

### <目標>

市民活動団体やボランティアグループがつながる機会と市民が市民活動を知り、参加するきっかけづくりを目的とする「市民活動フェスタ」を開催する。多様なテーマで活動する団体や自治組織の相互交流、来場する市民と参加団体との交流によって、市民団体への理解や市民の参加を促す。

### <成果>

長年、今津東コミュニティセンターで開催してきた当事業を、新たな会場である安曇川公民館で開催することで、これまで参加の機会が無かった団体や来場者を呼び込もうと準備していた。しかし、安曇川公民館の館内工事が開催時期に重なることになり、急遽、今津東コミュニティセンターでの開催となった。

実行委員会で出された企画やアイデアを形にすることができた。参加団体同士のつながりづくりを目的に、開催前2回「つながりカフェ」を開催できた。今年度は災害時に避難所などでどんな役割りを担えるかというテーマで「第1回つながりカフェ」を行い、「第2回つながりカフェ」ではトークフォークダンスを行ったことから、対話や協力の大切さを感じていただくことができた。また参加団体打合せ会では、各フロアの効果的な配置や使い方などを話し合いながら決めることができた。

フェスタ当日は、来場者アンケートも200名以上から回答いただくことができ、フィナーレに残る来場者も多く盛況になった。

開催後のふりかえり会では次年度へ活かしたいことや改善点などを話すことができた。

事業をとおして、実行委員会の委員同士、また参加した団体相互の理解とつながりが深まったと感じられた。

### (1) たかしま市民活動フェスタ 2024

テーマ『たかしまの未来（あす）を創ろう』

日時：2024年12月1日（日）10:00～15:00

会場：今津東コミュニティセンター

出展団体：40団体（1団体直前キャンセル） 延べ来場者数：約500人

販売出店料負担金：500円（20団体）

目的：高島市の様々な市民活動団体と各自治協議会が活動を紹介し、来場者と交流することで市民活動への理解や参加のきっかけを作る。またフェスタ当日までに参加団体が互いの活動を知る交流の機会をとおしてつながりをつくる。

チラシ作成枚数：5,500枚

チラシ配布先：市内・幼稚園、保育園、小学校、公共施設他事業所、その他参加団体関係者

### ◆実行委員会（実行委員11名）

実行委員長 北坂晃大（NPO法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ）

副実行委員長 奥村理恵（安曇川地域住民自治協議会）

事務局 横江・坂下

◆実行委員会記録

|        | 日時・場所                                 | 会議内容                                 | 出席者数 |
|--------|---------------------------------------|--------------------------------------|------|
| 第1回    | 4月19日(金)19:30~21:30<br>安曇川公民館         | 施設見学、フェスタ開催までのスケジュール・収支予算について        | 8名   |
| 第2回    | 5月10日(金)19:30~21:30<br>安曇川公民館         | テーマの決定、実行委員長・副委員長の決定、災害関連団体とのコラボについて | 11名  |
| 第3回    | 6月14日(金)19:30~21:30<br>安曇川公民館         | 参加団体募集について<br>つながりカフェのプログラムについて      | 10名  |
| 第4回    | 8月9日(金)19:30~21:30<br>安曇川公民館          | 参加団体募集状況について<br>参加団体打合せ会について         | 8名   |
| 第5回    | 9月13日(金)19:30~21:30<br>今津東コミュニティセンター  | 参加団体募集状況と団体の会場配置について、全体企画について        | 9名   |
| 第6回    | 10月11日(金)19:30~21:30<br>今津東コミュニティセンター | チラシ作成について、第2回つながりカフェについて、全体企画について    | 10名  |
| 第7回    | 11月8日(金)19:30~21:30<br>今津東コミュニティセンター  | 最終スケジュールについて、当日役割りと搬入・搬出ルート・駐車場警備確認  | 10名  |
| 配布冊子作成 | 11月21日(木)18:30~<br>今津東コミュニティセンター      | 500部、ページ組み、ホッチキス止め作業                 | 名    |

◆実行委員会企画

●出展団体カードの作成（名刺カード）

昨年実施した団体紹介カードを今年度も希望する団体には増刷した。また、新たな参加団体の中で、団体活動や連絡先をまとめたパンフレットやチラシを作成していない団体には、団体紹介カードについて説明し、デザインなど相談しながら作成した。



新たにカードを作成した団体

●抽選会とフィナーレへの集客

来場者アンケート回答用紙の番号と配布冊子の番号でプレゼント抽選を行った。  
3階ロビーでプレゼント配布を行い、そのままフィナーレに参加される仕掛けとした。（アンケート回収 242 件）

## ●高島の宝発見ツリー

市内の良いところ、宝だと思ふところやコトを来場者がクリスマスツリーに貼り付けていく企画。賑やかなツリーを見ることで、高島の宝にみんなが気づく仕掛けとなった。



## ●ラジオ風館内放送の実施

全館放送施設と屋外に設置したスピーカーを使い、プログラム案内と参加団体の自己紹介を行った。2分間という限られた時間だが、参加団体自らがマイクを通して活動紹介ができた。

## ◆チラシ



## ◆イベント当日の様子





#### ◆来場者アンケート

来場約 500 名 回答数 242

- ・約 90%が高島市内、55%は今津、新旭から来場。全地域から来場している。
- ・約 70%が模擬店がよかったと回答。次いでステージ発表、展示、体験と回答された。

#### <自由コメント> (一部抜粋)

- ・いろいろな団体の活動がわかったこと。新たな出会いがありました。
- ・このような場があるから知らないことも知ることができて感謝です。
- ・欲を言えば、もっと広い場所でもっとたくさんのグループが出てほしい
- ・高島に移住うして3年、このような地域活動を楽しみにしています
- ・老若男女が集える場で非常に良いと思いました。
- ・ジャンルが多岐にわたし、市内で様々な活動・取組がされていることを知ることができました。
- ・今回のイベントがさらに多くの人に世代をこえて広がってほしいですね。

## ◆参加団体アンケート

参加団体 39 団体    回答 23 団体

＜自由コメント＞（一部抜粋）

- ・多くの参加者に来場いただき、活動に賛同してもらえた。
- ・様々な参加団体の方達と交流できた事。 いろんな活動を知れて良かったです。
- ・活動の様子をまとめたポスターを掲示しましたが、普段安曇川以外の市民の皆さんに知ってもらえる機会が少ないので、見てもらえて良かったです。
- ・準備・片付けなど、団体の垣根を越えて協力しあえる姿にはとても感動しました
- ・フィナーレで複数団体がひとつになってステージを盛り上げていたこと。

## （２）参加団体交流事業

### ①第 1 回つながりカフェ

日時：2024 年 7 月 12 日（金）19:30～21:30

会場：今津東コミュニティセンター 中会議室

参加：33 名（21 団体）

目的：今年度のフェスタテーマへの理解を促す。参加団体それぞれの活動を知り、災害時にできることを共に考えることで交流を深める。

- 内容：1. 実行委員会からフェスタへの思い、フェスタのテーマ説明  
2. 自己紹介  
3. グループワーク「災害が起こり避難所に移動・避難生活をするようになった場合、あなたの団体は何が出来るか？」  
4. 各グループの発表



### ②たかしま市民活動フェスタ 2023 参加団体打合せ会

日時：2024 年 8 月 30 日（金）19:30～21:15

会場：今津東コミュニティセンター 中会議室

参加：28 名（20 団体）

目的：フェスタテーマに込めた思いの共有および各フロアのレイアウトや流れの共有と相談をとおり、団体同士の交流を図り、協力体制をつくる。



- 内容：1. 実行委員会から今年のテーマとフェスタへの思い説明  
2. 各フロア別に自己紹介、グループミーティング  
3. 各グループの発表・共有

### ③第2回つながりカフェ

日時：2024年10月24日（木）19：30～21：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加：28名 参加費：200円（コーヒー・お菓子代）

目的：フェスタテーマに込めた思いの共有およびトークフォークダンスをとおして、お互い  
を知り、交流を深める。

- 内容：1. 実行委員会から今年のテーマとフェスタへの思い共有  
2. チラシ配布の協力依頼  
3. つながりカフェタイム（トークフォークダンス）

### ④ふりかえり会

日時：2024年12月20日（金）19:30～21:30

会場：今津東コミュニティセンター

参加者：15名（9団体）

目的：フェスタの来場者の感想など共有・来年のフェスタに向けての意見、アイデア出し

内容：来場者アンケートや参加団体アンケートの結果を共有し、フェスタをふりかえり、次  
回に活かすコト、改善することなどを出し合った。

活かすコト・改善するコト（一部抜粋）

- ・マイクの音量調整やスピード、もう少しゆっくりわかるように喋るべきだった。
- ・抽選会のタイミングや準備対応をもっと考える。
- ・団体同士の交流をもっと深めたい。
- ・団体カード良かった。
- ・当日のみ参加の団体がおられ、片付けルールが  
守られていない。

など



## 7. 研修等参加記録

### <目標>

新しい協働コーディネーターを迎えるため、県内の市民活動支援センター意見交換会や中間支援組織向けの研修情報を得て積極的に参加を促す。

高島市の会議委員には積極的に対応し、行政の方向性や取り組みの理解と当センターの事業との連携を探る。高島市共同募金委員会審査会の審査委員として、共同募金への寄付状況および助成申請団体について情報を得る機会とする。

### <成果>

まちづくりスポット大津で中間支援組織新人研修を企画され、当センター3名が参加することができた。市民活動支援センター意見交換会では、相談業務に関する情報交換や学習を企画し、スキルアップにつながる研修内容となった。行政等の委員会への参加により、行政や関連機関とつながる機会になった。高島市共同募金委員会審査員として、ボランティアグループの活動を知ることができ、情報発信事業や市民活動フェスタへの出展につなげることができた。

### (1) 研修参加記録

#### ①市民活動支援センター意見交換会

第1回 意見交換会(担当：淡海ネットワークセンター)

6月20日 滋賀県立県民交流センター

テーマ：中間支援団体としての役割り、できていること・できていないこと、自団体の課題について

第3回 意見交換会(担当：甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」)

2月18日 甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」

テーマ：甲賀市の市民活動団体と自治振興会、2つの事例を聞き、中間支援組織の役割り、職員として考えることを出し合う

#### ②災害支援市民ネットワークしが2024 第3回研究会

テーマ：災害時の子どもの居場所づくり

12月10日 滋賀県民交流センター

#### ③中間支援センター新人研修

5月17日 パート1 まちづくりスポット大津

5月24日 パート2 //

6月12日 パート3 //

主催：NPO 法人まちづくりスポット大津

#### ④FEC 自給圏ネットワーク CO2 ネットゼロ社会づくりに向けた取り組み

第2回学習会 10月10日 高島公民館

## (2) 外部委員会等参加記録

### ① 高島市市民協働のまちづくり推進指針策定委員会／オブザーバー参加

第9回 5月30日 市役所

9月25日 湖西中学校「ふるさと学習・生き方学習 連携授業」 湖西中学

10月22日 湖西中学校「ふるさと学習・生き方学習 連携授業」 湖西中学

11月8日 湖西中学校「ふるさと学習・生き方学習 連携授業」 市役所

### ② 市制20周年記念事業推進委員会

第3回 4月9日 市役所

### ③ 高島市地域生活つむぎあい会議

第1回 7月18日 市役所

第2回 1月30日 市役所

### ④ 高島市共同募金委員会審査会

第1回 6月17日 高島市こども若者応援ベース「みらくる」

第2回 7月18日 高島市こども若者応援ベース「みらくる」

第3回 11月21日 高島市こども若者応援ベース「みらくる」

### ⑤ 高島市福祉のまちづくり推進委員会

第1回 8月1日 市役所

第2回 2月26日 市役所

### ⑥ サステイナブル高島ネットワーク会議

第1回 6月25日 市役所

第2回 9月11日 市役所

第3回 12月16日 市役所

### ⑦ 令和6年度長浜市市民活動団体支援事業審査会

第1回 8月29日

令和7年度長浜市市民協働事業審査会

審査会 3月11日、13日

## (3) 講師依頼等対応記録

つなぐサロン「まち協・地協・地域自治組織支援に関する事例・情報交換会」

1月17日 まちづくりスポット大津

事例紹介：草津市、東近江市、高島市、長浜市の各中間支援組織から概要共有

情報交換：関心持った点、さらに聞きたいこと など

主催：NPO 法人まちづくりスポット大津

### Ⅲ. 生活支援コーディネーター（第１層／市域）

#### <目標>

高齢になっても暮らし続けることができるまちづくりをめざす、生活支援体制整備事業の今年度目標は、「ニーズ・社会資源を把握してサービス開発につなげる」既存の公共交通を実際に使うバスの乗り方体験会を実施し、移動について話し合う場として協議体会議を開催する。

移動販売事業者同士が連携し、急な運休時には代わりに販売ができるかなど意見交換できる交流会の意向についてヒアリングを行う。

また団体の継続を支援するために必要なサポートを提供。社会参加を促進するツールとして、区・自治会などが開催するスマホ教室の支援し、同時に世代間の交流を促進するために地域の高校生や大学生に声をかけ、世代間交流の機会となるスマホ教室をめざす。

#### <成果>

高島自治協議会と協力して移動困難予備軍となる世代とバスの乗り方体験会を行った結果、「公共交通の印象が変わった」「サポート体制があればいい」「体や頭が動くうちに体験しておくといいと感じた」など前向きな意見が聞かれた。移動手段の一つとしてバスを意識するきっかけになった。

多様な分野から生活支援体制整備に関わる委員と移動に関心がある市民が集まる協議体会議では、バスの乗り方体験会の感想の報告と社会福祉法人による送迎の事例紹介を行った。第１回は「地域ごとにどんな仕組みが考えられるか」、第２回は「どんな連携が考えられるか」をテーマにアイデアを出した。社会福祉法人だけではなく地域の介護事業所と連携し、送迎サービスができそうな地域も現れた。

シニア世代へのスマホ講座や相談会の開催については、区・自治会から依頼があり、ニーズの高さを感じた。高校の部活動や授業の一環として地域と関わりを望んでいる事が分かった。

移動販売事業者に意向ヒアリングをした結果、交流会のニーズが無いことが分かったが、販売場所の拡大について相談ができる事業者がいた。具体的な地域の選定が必要だと感じた。

#### （１）NPO 団体・ボランティア団体への支援

##### 相談・ヒアリング記録

| 月日    | 団体名              | 人数 | 場所        |
|-------|------------------|----|-----------|
| 4月26日 | セブンイレブンマキノ工業団地前店 | 4  | マキノ支所     |
| 5月10日 | ヴォーリスファンクラブ      | 1  |           |
| 5月15日 | ケアメンカフェの仲間たち     | 9  | 新旭駅前エスパ   |
| 5月20日 | 男のまかないクラブ        | 1  | 今津東コミセン   |
| 5月21日 | まちあかり            | 3  | お休み処まちあかり |
| 5月24日 | 看護タクシーTabiii     | 1  |           |
| 5月24日 | 本庄小学校マルシェ実行委員会   | 1  |           |
| 5月29日 | 歌声はまかぜ           | 1  | 新旭公民館     |
| 6月6日  | 北仰東自治会           | 2  | 今津東コミセン   |
| 6月14日 | 高島地域住民自治協議会      | 2  | 高島公民館     |

|        |                   |    |               |
|--------|-------------------|----|---------------|
| 6月26日  | 都市政策課             | 2  | 市役所           |
| 7月1日   | 湖西介護支援専門員連絡協議会    | 1  | あいりん居宅介護支援事業所 |
| 7月1日   | 高島市介護サービス事業者連絡協議会 | 1  | 高島市社協         |
| 7月17日  | 湖西介護支援専門員連絡協議会    | 1  | あいりん居宅介護支援事業所 |
| 7月25日  | 高島地域住民自治協議会       | 2  | 高島公民館         |
| 9月18日  | パソコン教室亀楽(きらく)     | 8  | 安曇川世代交流センター   |
| 9月28日  | 今津山上会             | 17 | マキノ高原         |
| 10月8日  | 高島ふれあい元気クラブ       | 1  | 高島公民館         |
| 11月25日 | オカダ介護タクシー         | 1  |               |
| 2月7日   | 高島ふれあい元気クラブ       | 5  | 高島公民館         |
| 2月13日  | 高島陶芸クラブ           | 12 | 高島公民館         |
| 2月13日  | 卓球マーガレット          | 10 |               |
| 2月13日  | あしたの体操サークル        | 10 | 安曇川公民館        |
| 3月5日   | コミュニティサロンWAN      | 1  |               |

## (2) 地域ニーズの把握

移動販売事業者の現状を把握し、相互の情報交換に関するニーズを調査した。

市内6事業者の情報交換に関するニーズは低いことが分かったが、移動販売のニーズがある地域に関する情報を求めている事業者はあり、こちらから情報提供していくこととした。

### ＜ヒアリング先＞ 6事業者

フードショップよしの、オ川食品、めいどいんマキノ、林忠酒食品店、福本商店、Aコープパネス

## (3) 地域資源の見える化

市内のボランティアグループ、元気高齢者のイキイキ活動、男性の参加が多いイキイキ活動、仲間で作る多様な居場所を訪ね、活動取材し、ブログに掲載した。

「たかしまお役立ち情報」には、上記の取材団体の紹介、みんなの居場所マップの更新、区・自治会で運営される地域の居場所リストを更新し、掲載した。

### ① ブログ掲載 12件

ブログ <https://takashimaseikatusien.hatenablog.com/>

og

✎ 記事を書く 購読リスト 通知



2025-03-12

### 高島ふれあい元気クラブ

指導者の志賀さんは3年前に高島市に移住してこられました。市民協働課の移住定住の所に

### 生活支援コーディネーターとは

現在70～75歳の人が高齢者になる2025年、その世代が高齢者になってもが住み慣れた地域で元気に自分らしく住み続けられるよう、住居主の生活支援、介護予防の体制づくりを進めています。

地域の特性や困りごとを把握して、人、地域、団体、事業所などをつなぎ道を作りま

## ②「たかしまお役立ち情報」の作成

高齢になっても、住み慣れた場所で地域と関わりながら元気に、ずっと暮らし続けることができる高島市をめざして発行しています。

| 項目                       | 紹介数   | 項目               | 紹介数 |
|--------------------------|-------|------------------|-----|
| みんなの居場所マップ               | 30 カ所 | 配食サービス           | 5   |
| 地域の居場所リスト                |       | 買い物配達            | 6   |
| 居場所づくりのための出前講座           |       | 移動販売             | 6   |
| 地区ボランティアセンター             | 6 カ所  | 生活全般             | 14  |
| 市内のボランティアグループ            | 12 カ所 | 移送               | 7   |
| 元気高齢者のイキイキ活動             | 16 カ所 | 住民同士の助け合い移送      | 2   |
| 男性の参加が多い生き生き活動           | 9 カ所  | 社会福祉法人による移動支援    | 2   |
| 仲間で作る多様な居場所              | 4 カ所  | 出張理美容            | 17  |
| 認知症カフェと介護者のつどい           | 6 カ所  | 健康づくり            | 7   |
| チームオレンジ(認知症の方、その家族の支援活動) | 5 カ所  | 高島市見守りネットワーク事業紹介 |     |

たかしまお役立ち情報は市ホームページに掲載

<https://www.city.takashima.lg.jp/soshiki/kenkofukushibu/chiikihokatsushienka/1/2/1981.html>



## ③「あったか支え合い通信」の発行

21号 11月30日発行 第1回協議体会議の報告

22号 3月20日発行 第2回協議体会議の報告

## (4) 地域住民の活動への情報提供や住民同士がつながるための活動支援

主に、区・自治会などのスマホ教室に対応した。また、安曇川高校の地域連携の授業および高島高校 JRC 部と連携して対応できた。

＜対応した地域＞ 6カ所

＜対応した市民グループ＞ 4グループ

## (5) 生活支援体制整備協議体会議・定例会

第1層および第2層の生活支援コーディネーターと地域包括支援課で毎月定例会を持ち、年間のテーマについて検討し、生活支援体制整備協議体会議を実施した。

① 第1層協議体会議 2回

| 月日                       | 場所            | 内容                                                      |
|--------------------------|---------------|---------------------------------------------------------|
| 10月29日(火)<br>13:30~15:30 | 今津東コミュニティセンター | 高齢者の移動手段を一緒に考えましょう！<br>各地域に合った仕組みを考える<br>参加者 42名        |
| 2月4日(火)<br>13:30~15:30   | 今津東コミュニティセンター | 高齢者の移動手段を一緒に考えましょう！<br>地域で連携・協働したい団体や企業を考える。<br>参加者 33名 |

② 高島市生活支援コーディネーター定例会

第1層・第2層定例会および打合せ 14回

| 月日                       | 場所     | 内容                                  |
|--------------------------|--------|-------------------------------------|
| 4月16日(火)<br>13:30~15:00  | 高島市社協  | 生活支援コーディネーターについて                    |
| 4月18日(木)<br>10:00~12:00  | 市役所    | 今年度の活動について                          |
| 5月17日(金)<br>15:00~17:00  | 高島市社協  | 定例会の持ち方について                         |
| 5月21日(火)<br>13:30~15:00  | 市役所    | 今年度の活動方向を決める                        |
| 6月18日(火)<br>13:30~15:00  | 高島市社協  | 勉強会「宅配クック123の取り組み」について              |
| 7月16日(火)<br>13:30~15:00  | 高島市社協  | 朽木の事例から地域ニーズのマッチングを考える              |
| 8月20日(火)<br>13:30~15:00  | 高島市社協  | バスの乗り方体験会と第1層協議体会議について              |
| 9月17日(火)<br>16:00~17:00  | 高島市民病院 | バスの乗り方体験会の結果共有と第1層協議体会議について         |
| 10月15日(火)<br>16:00~17:00 | 高島市社協  | 第1層協議体会議の内容確認と役割分担について              |
| 11月19日(火)<br>13:00~15:00 | 高島市社協  | 第1層協議体会議のふりかえり                      |
| 12月17日(火)<br>13:00~15:00 | 高島市社協  | 第2層協議体会議第1回の報告と第2回の方向性、第1層協議体会議について |
| 1月21日(火)<br>16:00~17:00  | 高島市社協  | 第1層協議体会議について                        |
| 2月18日(火)<br>13:30~14:30  | 高島市社協  | 第1層協議体会議のふりかえり                      |

|                         |       |                            |
|-------------------------|-------|----------------------------|
| 3月18日(火)<br>16:00~17:00 | 高島市社協 | マイウェイノートの活用について、次年度の活動について |
|-------------------------|-------|----------------------------|

③ 第2層協議体会議への出席 8回

| 月日                       | 場所            | 内容                                          |
|--------------------------|---------------|---------------------------------------------|
| 9月30日(月)<br>10:00~11:30  | 高島支所          | 第1回高島地域協議体会議<br>住民同士の移動支援について               |
| 10月18日(金)<br>13:30~15:30 | 朽木公民館         | 第1回朽木地域協議体会議<br>朽木外出サポート隊について               |
| 11月19日(火)<br>15:00~16:30 | 今津東コミュニティセンター | 第1回今津地域協議体会議<br>大供区と松陽台区の生活支援の取り組み          |
| 11月22日(金)<br>13:30~15:30 | 土に学ぶ里研修センター   | 第1回マキノ地域協議体会議<br>助け合い体験ゲーム                  |
| 2月18日(火)<br>10:30~12:00  | 安曇川中学校        | 第2回安曇川地域協議体会議<br>テーマ型グループについて               |
| 2月21日(金)<br>13:30~15:00  | 土に学ぶ里研修センター   | 第2回マキノ地域協議体会議<br>マイウェイノートの活用について            |
| 2月25日(金)<br>10:30~12:00  | 今津東コミュニティセンター | 第2回今津地域協議体会議<br>地域の居場所ですてみたいこと              |
| 2月25日(月)<br>15:30~17:00  | まちあかり         | 第2回高島地域協議体会議<br>10年後を想像し、こんなサービスがあればいいなと考える |

(7) 研修会等参加

5月8日 安曇川高校トークフォークダンス(安曇川高校)

5月15~24日 各地域の福祉懇談会(高島市社協)

朽木地域、高島地域、今津地域、マキノ地域、新旭地域

5月17日 SCミーティング(国際長寿センター)

全国の生活支援コーディネーター同士で話してみよう

6月7日 SCミーティング(国際長寿センター)

生活支援体制整備事業ってなに?

8月17日 滋賀県地域交通ワークショップ(滋賀県地域交通活性化協議会)

9月17日 リンクワーク懇談会( )

リンクワーカーの情報交換

1月14日 家族介護教室(NPO 法人元気な仲間)

生活支援コーディネーター活動紹介

2月15日 滋賀の公共交通 未来アイデア会議(滋賀県地域交通活性化協議会)

- 3月1日 みんなの福祉フォーラム（高島市社協）  
孤立を防ぐつながりづくり
- 3月14日 一般介護予防事業評価会議
- 3月18日 地域ケア推進会議

#### IV. 関係人口創出・拡大推進事業

##### <成果と課題>

前年度に引き続き、高島市における「関係人口」の意義や「高島縁人」について理解し、関係人口を受け入れる市民団体を増やす目的で、多様なテーマ型の活動や地縁型の住民自治協議会など 12 団体を訪ねることができた。

各団体の活動やイベントを高島縁人ラインやバーチャル高島を使って広報する機会を作り、イベントの取材記事はネット上に掲載することができた。

団体サポーターとして「高島縁人」について理解いただけた団体は 45 団体になったが、イベントへの参加だけでなく地域や人と深く関わりたいという関係人口のニーズを満たすことができる団体のプログラムづくりや広報などのサポートが今後の課題だと考えている。

バーチャル高島を使ったオンラインイベントを 6 回開催し、魅力ある高島の人や活動を紹介することができた。冬のオンラインイベントにおいては、各テーマにおける団体同士の横のつながり、秋のイベント各主催者同士の来期連携へ向けた横のつながりをつくることができた。

市民向けに市内の活動団体や関係人口受入れ団体について伝える機会として、子ども記者クラブの活動を実施した。3 組の親子が市内団体取材し、子どもの目線で記事にまとめ、たかしま市民活動フェスタで発表することができた。今後、子ども記者クラブを通して市民が市内の活動への関心を向け、発信する活動を継続したい。

##### <提案>

- LINE 登録を推進しているが、登録後に得られる情報が充実しているとは言えない。次年度は日程・曜日を決めた定期配信が必要。
- オンラインイベントへの参加者の広がりが少ないため、バーチャル高島の活用を市内団体にも勧め、高島縁人イベント以外にも活用を広げることで、周知をはかる。
- 高島縁人を説明できるパンフレットの内容が数年前のままであり、次年度には現状に合った事業を紹介する制作物を作成が必要。

##### (1) 高島縁人コーディネート会議

運営メンバー：田中可奈子さん(wacca)、藤田時彦さん(atelia umi)、(有)とーく 堤さん、総合戦略課、NPO法人コミュニティねっとわーく高島

|     | 開催日程                    | 場所    | 参加者                | 内容                                  |
|-----|-------------------------|-------|--------------------|-------------------------------------|
| 第1回 | 4月17日(水)<br>10:00-12:00 | wacca | 7名                 | 昨年度の振り返り、R6 年度の目標と進め方、スケジュールの共有     |
| 第2回 | 5月14日(火)<br>10:00-12:00 | wacca | 6名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、スケジュール共有、6月開催 BGE プログラム    |
| 第3回 | 6月 6日(火)<br>10:00-12:00 | wacca | 6名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、団体スケジュール共有、こども記者クラブ内容      |
| 第4回 | 7月10日(火)<br>10:00-12:00 | 市役所   | 7名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、8月開催 BGE プログラム、冬のオンラインイベント |
| 臨時  | 7月19日(金)<br>13:00-15:00 | 市役所   | 5名                 | 高島縁について、経緯と活動内容の確認                  |

|      |                                |     |                    |                                                      |
|------|--------------------------------|-----|--------------------|------------------------------------------------------|
| 第5回  | 8月 7日 (水)<br>10:00-12:00       | 市役所 | 7名                 | 情報発信について、A5広報物について、こども記者活動報告、冬のオンラインイベントについて         |
| 第6回  | 9月 3日 (火)<br>10:00-12:00       | 市役所 | 7名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、A5広報物について、こども記者活動報告、オンラインイベントについて           |
| 第7回  | 10月1日 (火)<br>10:00-12:00       | 市役所 | 6名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、10月開催 BGE プログラム、冬のオンラインイベント                 |
| 第8回  | 11月8日 (金)<br>10:00-12:00       | 市役所 | 7名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、冬のオンラインイベントプログラム、次年度の動き                     |
| 第9回  | 12月10日<br>(火) 10:00 -<br>11:30 | 市役所 | 7名                 | 情報発信について、市民活動フェスタ出展の報告、冬のオンラインイベント、BGE について          |
| 第10回 | 1月 8日 (水)<br>10:00-12:00       | 市役所 | 7名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、冬のオンラインイベント振り返り、1月開催 BGE について、3月開催 BGE について |
| 第11回 | 2月 5日 (水)<br>10:00-12:00       | 市役所 | 7名<br>(ZOOM<br>併用) | 情報発信について、3月開催 BGE について、秋のイベント連携、oVlce 活用方法           |
| 第12回 | 3月12日 (水)<br>13:30-15:30       | 市役所 | 7名<br>(ZOOM<br>併用) | R6年度の振り返りと次年度へ向けて、配信、空白の期間について                       |

(2) 団体サポーター（高島縁人受入れ団体、地域）の発掘

関係人口創出事業と高島縁人について説明できた団体は、昨年度末 32 団体だったが 45 団体に増加。

|    | 団体名                            |
|----|--------------------------------|
| 1  | ヴォーリス今津郵便局の会                   |
| 2  | マキノ自然観察倶楽部                     |
| 3  | 結の里・椋川                         |
| 4  | 南深清水 FF 倶楽部                    |
| 5  | まるくもくらぶ                        |
| 6  | 水口ファーム                         |
| 7  | 中村水産                           |
| 8  | 認定 NPO 法人 TSC TSC フリースクール      |
| 9  | 上開田営農組合                        |
| 10 | 小荒路区                           |
| 11 | 有限会社橋本燃料                       |
| 12 | 株式会社よこいファーム                    |
| 13 | 企業組合ビュースパイア                    |
| 14 | 新旭水鳥観察センター（指定管理者：NPO 法人高島野鳥の会） |
| 15 | 丸八百貨店（指定管理者：株式会社 ENON）         |

|    |                                              |
|----|----------------------------------------------|
| 16 | ヴォーリス資料館（指定管理者：一般社団法人あすらぼ）                   |
| 17 | 森林公園くつぎの森（指定管理者：NPO 法人麻生里山センター）              |
| 18 | 高島市針畑郷山村都市交流館 源流の駅「山帰来」<br>（指定管理者：針畑地域活性化組合） |
| 19 | タネカラプロジェクト                                   |
| 20 | エーゼロ株式会社滋賀支社                                 |
| 21 | NPO 法人絵本による街づくりの会                            |
| 22 | SUZAKI CAFE                                  |
| 23 | NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ                     |
| 24 | たかしま市民活動フェスタ実行委員会                            |
| 25 | 淡海湖西生涯学習センター<br>（運営者：公益財団法人モラロジー道德教育財団）      |
| 26 | 新旭学童やまびこ（運営者：NPO 法人クマノヤマネット）                 |
| 27 | ヴォーリス JAZZ NIGHT 実行委員会                       |
| 28 | パブリカ                                         |
| 29 | ほほえみ工房                                       |
| 30 | FEC 自給圏ネットワーク                                |
| 31 | 畑を楽しむ会                                       |
| 32 | 野遊び塾                                         |
| 33 | 一般社団法人ココヒト                                   |
| 34 | 高島の森 未来につなぐ山守を考える会                           |
| 35 | 森の実験室                                        |
| 36 | いなか暮らしうボ古今集                                  |
| 37 | 新旭駅西ショッピングセンターエスパ（運営者：NPO 法人元気な仲間）           |
| 38 | TAKASHIMA BASE（運営者：一般社団法人ぼくみん）               |
| 39 | 朽木地域住みよいまちづくり推進協議会                           |
| 40 | 高島地域住民自治協議会（サポートリングたかしま）                     |
| 41 | 高島市今津地域住民自治協議会                               |
| 42 | 巨木と水源の郷をまもる会                                 |
| 43 | せぎなお会                                        |
| 44 | 82号保存会                                       |
| 45 | 朽木の知恵と技発見プロジェクト                              |

### （３）情報発信

団体サポーターにヒアリングし、活動への想いや活動内容を発信、イベント広報をサポートした。イベント当日に取材し、後日、取材団体の記事確認を経てネットで情報発信した。ヒアリングや取材では、団体の運営や広報に関する課題についても聞き取り対応した。

#### ①ホームページの運営、更新

- ・オンラインイベントの情報更新
- ・note 記事へのリンク

#### ②LINE 登録者

373人（2025年3月）      配信：計17回

### ③note 運営、記事の投稿

28記事作成

フォロワー数 14人(2024年4月) → 31人(2025年3月)

URL: <https://note.com/takashimaengine/>



### (4) オンラインイベント

#### ①バーチャル高島 Blue Green Engin

ゲストには事前打合せを行い、バーチャル高島の入室や操作方法を案内した。当日の発表内容について取材し、発表データ取りまとめ、MC との内容調整を行った。

|   | 日時                   | ゲスト                  | 参加者 |
|---|----------------------|----------------------|-----|
| 1 | 6月20日(木)20:00-20:30  | 高島の森 未来につなぐ山守を考える会   | 42人 |
| 2 | 8月22日(木)20:00-20:30  | SUZAKI CAFE          | 31人 |
| 3 | 10月17日(木)20:00-20:30 | 南深清水 FF 倶楽部          | 30人 |
| 4 | 12月13日(金)19:45-20:15 | 今津地域住民自治協議会          | 27人 |
| 5 | 1月16日(木)20:00-20:30  | NPO 法人コミュニティねっとわーく高島 | 31人 |
| 6 | 3月6日(木)20:00-20:30   | 映画「ヒゲの校長」高島市上映実行委員会  | 35人 |

#### ②冬のオンラインイベント・交流会

<打合せ>

話題提供者に高島縁人に関する説明、バーチャル高島の入室および操作案内、取材・打ち合わせを行った。

| 日時                    | 場所                                  | 話題提供者                                                               |
|-----------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 11月26日<br>13:30-15:30 | バーチャル高島                             | 新旭駅西ショッピングセンターエスパ<br>(NPO 法人元気な仲間)<br>TAKSHIMA BASE<br>(一般社団法人ぼくみん) |
| 12月3日<br>14:30        | 新旭駅前ショッピングセンターエスパ<br>TAKASHIMA BASE | MC と打合せ                                                             |
| 12月3日<br>16:00        | 今津東コミュニティセンター<br>今津駅前イルミネーション       | 今津地域住民自治協議会                                                         |
| 12月3日<br>18:00        | バーチャル高島                             | 高島の森 未来につなぐ山守を考える会、森の実験室、岡本木材(株)                                    |
| 12月5日<br>20:00        | バーチャル高島                             | 南深清水FF 倶楽部、畑を楽しむ会、いなか暮らしうボ古今集                                       |

#### 冬のイベントプログラム

テーマ「高島の魅力に出会う2日間」

参加者（ログイン数）12月13日 27人

12月14日 50人

1日目はバーチャル高島の体験を目的に、2日目のプログラムは話題提供者同士のつながりの機会にすることも目的に企画した。

#### 1日目 12月13日(金)

|                       | プログラム                 | 話題提供                                                 |
|-----------------------|-----------------------|------------------------------------------------------|
| プログラム1<br>19:00-19:30 | バーチャル高島体験<br>高島市紹介    | バーチャル高島体験<br>操作案内<br>高島市紹介<br>総合戦略課                  |
| プログラム2<br>19:45-20:15 | Blue Green Engin      | 今津地域住民自治協議会<br>高島市からのお知らせ<br>バーチャル高島の冬の交流会楽しみ方<br>案内 |
| プログラム3<br>20:30-21:30 | バーチャル高島の多様な活用について意見交換 | 自由参加                                                 |

#### 2日目 12月14日(土)

|                       | プログラム        | 話題提供                                              |
|-----------------------|--------------|---------------------------------------------------|
| プログラム4<br>10:00-11:30 | 高島の森を暮らしにつなぐ | 高島の森ー未来につなぐ山守を考える会)<br>森の実験室<br>岡本木材株式会社<br>交流タイム |

|                       |                                                                           |                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プログラム5<br>13:00-14:30 | 山間地・農村地を<br>元気に！                                                          | 南深清水 FF 倶楽部(今津町深清水)<br>畑を楽しむ会(畑)<br>いなか暮らしうボ古今集(マキノ町在原)<br>交流タイム                                                                                                                  |
| プログラム6<br>15:30-17:00 | 人が集まり、出会<br>うまちづくり                                                        | 新旭駅西ショッピングセンターエスパ<br>NPO 法人元気な仲間<br>TAKASHIMA BASE<br>一般社団法人ぼくみん<br>交流タイム                                                                                                         |
| プログラム7<br>20:00-21:30 | 秋の地域マルシ<br>ェ・イベント連携<br>相談<br>★スタンプラリー<br>など連携してPR<br>できる方法や工夫<br>を一緒に考えたい | 米まつり(10/26 土：朽木)<br>輪っしょい高島(10/27 日：高島)<br>里山里湖マルシェ(11/3-4 日月：マキノ)<br>今津住民自治協議会(11/9 土：今津)<br>おっきん椋川(11/17 日：今津)<br>南深清水 FF クラブ(11/17 日：今津)<br>畑を楽しむ会(11/24 日：高島)<br>まちのコインについて 他 |

**高島縁人**  
高島の魅力に出会う2日間  
冬のオンラインイベント・交流会  
2024.12.13(金)-14(土)  
【会場】バーチャル高島・申込不要  
※入室方法は裏面をご覧ください

パソコンから  
スマホから

**高島縁人公式LINE**  
公式LINEから登録  
高島縁人HPにQRコードを掲載  
※QRコードを登録  
バーチャル高島の案内も送ります

**DAY.1** バーチャル体験・交流会  
program 1 19:00 - 19:30  
高島市紹介・バーチャル体験  
アバターを操作して、  
バーチャル高島を探索してみましょう  
program 2 19:45 - 20:15  
駅前イルミネーションプロジェクト  
デジタルヒーロー/今津地域は自然の緑豊かな  
広場と一緒に緑を育てながら、未来の緑を育てます  
program 3 20:30 - 21:30  
バーチャル高島・意見交流会  
高島市に暮らす人々の声や、高島市の現状、  
高島について、自由に意見交換

**DAY.2** テーマごとのトークイベント  
program 4 10:00 - 11:30  
高島の森を暮らしにつなぐ  
高島市自然公園の森・高島市自然公園を歩きながら、  
自然の恵みを感じ、未来の森を育てます  
program 5 12:00 - 14:30  
高島の山間・農村地を元気に！  
高島市山間・農村地域の課題に取り組み、  
イベントや観光資源を創出する取り組みの紹介  
program 6 15:30 - 17:00  
人が集まり、出会うまちづくり  
高島市に暮らす人々の声や、高島市の現状、  
高島について、自由に意見交換  
program 7 20:00 - 21:30  
秋の地域イベント連携相談  
高島市に暮らす人々の声や、高島市の現状、  
高島について、自由に意見交換

主催：高島市 運営：高島縁人コーディネート会  
高島市役所総合戦略課 担当：中野 翔太 TEL 0740-25-8114  
(当日のお問い合わせ：たかしま市民協働交流センター TEL 0740-20-5758)

**入室方法** 高島縁人のHPまたはQRコードから入室いただけます

1 HPから入室する  
高島縁人のHP (https://www.takashima-engine.com) にアクセス  
：オンラインイベント「バーチャル高島」にアクセス  
2 QRコードから入室する  
QRコードを読み取り、入室  
※高島縁人の高島は、パソコンからの入室を推奨します

**バーチャル高島へ入る**  
「バーチャル高島」は、高島市役所が運営するバーチャル空間です。高島市役所の各部署や、高島市に暮らす人々の声や、高島市の現状、高島について、自由に意見交換ができます。

**入室方法**  
1. HPから入室する  
2. QRコードから入室する  
3. バーチャル高島へ入る  
4. バーチャル高島を探索する  
5. バーチャル高島で交流する  
6. バーチャル高島で意見交換する  
7. バーチャル高島でイベントに参加する

**入室方法**  
1. HPから入室する  
2. QRコードから入室する  
3. バーチャル高島へ入る  
4. バーチャル高島を探索する  
5. バーチャル高島で交流する  
6. バーチャル高島で意見交換する  
7. バーチャル高島でイベントに参加する

**高島縁人HP** https://www.takashima-engine.com  
公式LINE @takashimaengine

## (5) 高島縁人「こども記者クラブ」

### <目的>

市民であっても自分たちが住む地域や少し離れた地域のこと、市民の活動を知らない実態がある。そこで「知らない高島」を親子で知る「高島縁人 こども記者クラブ」を夏休みの企画として実施し、こどもの視点から記事を作成し発表する試みを行った。

## <成果>

参加者は、棕川の昔の暮らし体験を現地を訪ねて体感し、地域への理解と関心が高まり、参加者の視点で記事を作成することができた。

取材先を決定した後のスケジュール調整が難しく、次回実施時には事前に取材日程を調整して実施する。

## <プログラム>

テーマ「知らない高島の人・モノ・コトに会う-高島縁人 こども記者クラブ」

参加者 3組（9名）

| 日時                                     | 場所                         | 内容                             |
|----------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 7月23日(火)<br>10:00~11:30                | 今津東コミュニティセンター              | 「こども記者って？」<br>講師：石崎立矢さん（京都新聞社） |
| 7月26日(金)<br>10:30~11:40<br>13:00~15:00 | おっきん棕川交流館<br>今津東コミュニティセンター | おっきん棕川交流会を取材<br>取材記事作成         |
| 8月6日(火)<br>10:00~11:00                 | 今津東コミュニティセンター              | こども新聞づくり、発表                    |
| 12月1日(日)                               | 今津東コミュニティセンター              | たかしま市民活動フェスタ 2024 にて<br>展示     |

高島縁人 | こども記者クラブ  
知らない高島の人・モノ・コトに出会う



- 夏休みの自由研究 -

読んでいるのに意外と知らない高島

高島は大阪府の南西部に位置する。面積は約1,000平方キロメートルで、人口は約10万人です。高島には多くの歴史ある町や村があり、それぞれに独特の文化や伝統があります。この冊子は、高島の歴史や文化、自然について詳しく紹介しています。高島を知るための必読書です。

|      |          |     |          |
|------|----------|-----|----------|
| 発行   | 2023年10月 | 編集  | 高島市教育委員会 |
| 発行所  | 高島市教育委員会 | 印刷  | 高島市印刷局   |
| 発行部数 | 10,000部  | 発行所 | 高島市教育委員会 |

高島市教育委員会  
〒596-8501 高島市東今津1-1-1  
TEL: 0749-22-1111 FAX: 0749-22-1112  
E-MAIL: info@city.takasima.lg.jp



出展の様子



活動紹介リーフレット





## V. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

### <目標>

高島市の豊かな森に市民が関心を向け、市民が森に関わる機会を提供することを目的に、森に関する学びの機会、森を訪れる機会、森での生業を知る機会を作るために 2015 年から活動を行っている。

今年度は「森と水の森林ファンド」の助成金を利用して事業を進める。

2022 年度の相談対応で関わりが始まった綾羽工業の河辺林で植生等の現状調査を行う。カワウの営巣地となり糞害や臭気が課題となっている河辺林で、今後の整備や保全活用のために現状を把握する。植物や生きものの専門家、調査結果の分析や見える化ができる研究者などに協力を依頼して行う。

### <成果>

河辺林の現状調査については、夏、秋、冬に植物と昆虫および動物などの専門家による調査をすることができた。春の調査は次年度に行う予定。2025 年 4 月に市民向けの調査体験会および 6 月に調査報告会を開催し、市民の関心を高める予定。

今年度の調査で、カワウによる糞害で高木が枯れ、竹が広範囲に侵入している現状であるが、希少な植物や多様な昆虫・動物などの生息が確認された。

### 1. 綾羽工業の河辺林について

新旭町太田にある綾羽工業株式会社の敷地内の河辺林(約 7ha)は、県内で最も大きなカワウの営巣地であり近隣では臭気や糞害が発生している。

2022 年から綾羽工業(株)と相談し、市民に開かれた河辺林をめざして河辺林の整備、活用方法について検討を始めた。

### <助成金>

森と水の森林ファンド「手つかずの河辺林を市民の森にするための基礎調査」

助成期間：2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日

### (1) 調査協力者

|   | 氏名    | 所属                                |
|---|-------|-----------------------------------|
| 1 | 木村道徳  | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター                  |
| 2 | 芳賀智宏  | 大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻<br>特任助教 |
| 3 | 千々岩 哲 | 滋賀自然環境研究会 理事 (株式会社地域環境計画)         |
| 4 | 青柳正人  | エコシステムリサーチ<br>野生生物調査、自然環境調査、データ解析 |
| 5 | 武藤精蔵  |                                   |
| 6 | 森 小夜子 | 滋賀県生物環境アドバイザー (植物専門)              |
| 7 | 上田洋平  | 滋賀県立大学 地域共生センター                   |
| 8 | 谷口嘉之  | 滋賀県立大学 地域共生センター                   |
| 9 | 金 再奎  | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター                  |

|    |       |                         |
|----|-------|-------------------------|
| 10 | 酒井陽一郎 | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター        |
| 11 | 水野敏明  | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター        |
| 12 | 横山大稀  | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター        |
| 13 | 奥村浩気  | 滋賀県琵琶湖環境部 環境政策課企画・環境学習係 |
| 14 | 境 貴昭  | 高島市役所環境部環境政策課 参事        |
| 15 | 堀本拳志郎 | 高島市役所環境部環境政策課 主事        |
| 16 | 和田 隆  | 綾羽工業株式会社 総務部 部長         |

(2) 打合せの記録

現状調査、調査後のまとめ方、今後の整備についてなど関係者で打合せを行った。

| 日時                   | 内容                                        | 参加者                                                                    |
|----------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 5月14日<br>綾羽工業(株)高島工場 | 現状調査関係者顔合わせ<br>今後の調査スケジュール<br>河辺林見学       | 12名(調査関係者<br>リスト参照)                                                    |
| 9月4日<br>綾羽工業(株)高島工場  | 琵琶湖博物館 亀田館長とカワウの<br>生態、カワウ対策など相談<br>河辺林見学 | 11名(綾羽工業(株)、<br>滋賀県立大学地域<br>共生センター、たか<br>しま市民アカデミ<br>ー、高島市、交流セ<br>ンター) |
| 1月30日<br>Zoom        | 現状調査の経過、今後の整備等進め方<br>について                 | 10名(綾羽工業(株)、<br>琵琶湖環境科学研<br>究センター、滋賀<br>県、高島市、調査担<br>当者、交流センタ<br>ー)    |

(3) 調査の記録

| 日時     | 調査者                           | 内容                                                           |
|--------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 8月22日  | 植物：森さん<br>昆虫：青柳さん             | 植物 180 種確認<br>昆虫 51 種確認                                      |
| 10月21日 | 植物：森さん<br>昆虫：青柳さん<br>動物：千々岩さん | 植物(10～11月) 250 種確認<br>昆虫 61 種確認<br>鳥類 14 種確認<br>陸上脊椎動物 5 種確認 |
| 10月31日 | 森さん、京都府立植物<br>園               | ユキミバナ他の調査                                                    |
| 12月21日 | 動物：千々岩さん                      |                                                              |



亀田館長とカワウの状況確認



秋の昆虫調査



秋の植物、動物調査



冬の動物調査

## Ⅵ. コミュニティ事業

### 1. 郷土料理教室

#### <目標>

郷土料理「鮒ずし」漬け体験をとおり、湖魚を食べる習慣や琵琶湖や漁業の現状について知る機会を作る。鮒ずし好きのコミュニティや出会いとつながる機会を作る。

#### <成果>

毎年の参加者に加え、市内外から新たな参加者が増えた。滋賀県水産課の指導で鮒ずしの漬け方、琵琶湖や漁業の現状などについて学ぶ機会を提供できた。2月には鮒ずし味見会を開催することができ、参加者間の交流と鮒ずし好きな仲間を拡げることができた。

#### (1) 鮒ずし漬け体験会

開催日 ①7月28日(日)、②8月3日(土) 9:30~15:00

場 所 今津東コミュニティセンター

参加者 ①13名(5グループ)、②11名(5グループ)+体験のみ1名  
計25名(10グループ)

講 師 ①上野世司さん(滋賀県水産課)、②谷口皆人さん(滋賀県水産試験場)

内 容 参加者自己紹介、漬け方説明、塩切鮒洗い

琵琶湖についてのお話し(琵琶湖の現状と湖魚料理、湖と農業と魚の関係など)  
ご飯と鮒の漬け込み



#### (2) 鮒ずし味見会

開催日 2月24日(月・休日) 16:00~18:00

場 所 今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 15名

内 容 各チームや自宅で漬けた鮎ずしを持ち寄り、味見して感想を共有した。  
※終了後、「お魚とお酒 うはる」（今津町）にて親睦会を開催した。



## 2. みんなのほんだな

### <目標>

本をとおした人の交流を目的に、平成 29 年から今津東コミュニティセンターに設置。施設運営者と適宜本の整理をしながら運営。年に 1 回の本の整理作業を本好きな市民の交流の機会として開催する。

### <成果>

年間とおして本の入れ替わりがあり、本を読む人の姿も見られた。  
本の整理作業は、本好きな市民と汚れた本や古い本を整理することができた。

### ※「みんなのほんだな」とは

誰かに読んでほしい本や読み終わった本を持って来ることができ、また気になる本や読みたい本を持って帰ることができる本棚。シンプルな本の交換の仕組み。

ルール：本の交換は 1 日 3 冊まで。

交換できない本は、マンガ、雑誌、情報誌、辞典、宗教・政治・法律関係の本、情報の古い専門書、汚損のひどいもの

#### (1) 本の整理作業

2 月 24 日(月・休日)13:30~15:00

参加者 2 名

内 容 古い本、汚れている本を箱に詰める、本の茶話会

#### (2) 本の寄付

認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会

ステナイ生活へ寄付 5 箱

## 3. 市制 20 周年記念事業 「中高生と未来を語ろう 夏休み最後の日曜日チャレンジ」

### <目標>

高島市の未来を担う中高生が夏休み最後の日曜日にチャレンジしたいことを、仲間や大人に伝え、実現する機会を持つ企画を市制 20 周年記念事業に申請し実施した。中高生がやりたいことチャレンジしたいことを言える場をつくること、地域の大人が中高生の言葉に耳を傾け、応援できることを目標とした。

### ＜成果＞

市内の中学校を訪ね、企画についての説明と生徒への周知について依頼することができた。安曇川高校、高島高校についても、地域との連携を担当される方に企画を説明し生徒への周知を依頼することができた。この企画の説明が縁となり、安曇川高校 2 年生の授業でトーク・フォークダンス（高校生と地域の大人が互いに耳を傾け合う授業）の実施において、参加する大人 70 名の募集を当法人で担うことができた。

協力体制について、高島市商工会青年部は多様な職種の部員が所属し、チャレンジの応援が可能であると協力体制ができた。びわこ成蹊スポーツ大学アウトドアセンターとは、中高生のグループづくりや琵琶湖での活動についての協力体制ができた。マキノ町で新設された㈱TCC Japan と馬の世話体験などの受け入れ協力が得られた。

びわこ成蹊スポーツ大学の学生サポーターが参加者と対話しながらチャレンジしたいことを引き出し、参加者が自分達でプログラムを決めることができた。中学生と大学生は年齢が近く、話しやすい様子だった。自分達で決めたプログラムを話し合いながら実行することができた。夜は、中学生、学生、大人と一緒に、これからチャレンジしたいことなど対話することができた。

参加者が 3 名のため、地域の多様な大人との対話を実現することはできなかったが、協力体制ができた組織と、今後の企画継続について相談したい。

### （１）プログラムの記録

#### ＜チャレンジ作戦会議＞

日時 7 月 15 日（月・祝）13:30～15:30

場所 安曇川公民館 カルチャールーム

参加者 中学 2 年生 2 名、学生サポーター 1 名、スタッフ 1 名

内容 ①プログラムの説明

②自己紹介 名前、学校、ニックネームとその理由

③質問ゲーム（アイスブレイク）「住んでいる所の好きなどこは？」で開始。

④チャレンジ作戦会議

・やってみたいことを書き出し、やりたいことを選び、時間配分を決めた

＜晴れプログラム＞びわこ成蹊スポーツ大学へ移動

1. テントを建てる 30 分＋タープも張る（15 分）

2. 火をおこす（40 分）

3. お昼ご飯

4. サップ体験・琵琶湖で泳ぐ（残り時間で）

持ち物：濡れてもいい靴、着替え、ゴーグル（琵琶湖で泳ぐ）、タオル、飲み物、フ  
アイヤースターター、日焼け止め、虫よけ

＜雨プログラム＞滋賀県立びわ湖こどもの国へ移動

1. クライミング体験（50 分）

2. お昼ご飯

3. 卓球、スライム作り

持ち物：タオル、スライムづくりの材料、体育館シューズ

⑤グループ名と連絡方法を決めた

<夏休み最後の日曜日チャレンジ>

日時 8月25日(日)10:00-8月26日(月)10:00

宿泊 白浜荘

参加者 中学2年生3名、学生サポーター1名、大人サポーター(商工会青年部)1名、  
スタッフ1名(大人サポーターは①、②に参加)

内容 ①プログラムの説明と自己紹介

②びわこ成蹊スポーツ大学へ移動

- ・白浜荘送迎-JR近江高島駅-比良駅(徒歩)-成蹊スポーツ大学艇庫

- ・チャレンジ

琵琶湖で泳ぐ:学生サポーターからライフジャケットの必要性和安全説明

火おこし:薪と着火しやすい枯草や木の皮などを集めて、ファイヤースターターで火おこした。

サップ:学生サポーターからサップの乗り方を教えてもらい体験した。

③夜の対話(たき火を囲んで対話の予定だったが雨のため部屋で対話)

- ・チャレンジをふりかえっての感想

とにかくサップが楽しかったとの声。もっとサップしたい。

- ・これからチャレンジしたいこと

(学校の)クラブの競技をもっと頑張って全国へ行く。もっとサップしたい。特にない。カヤックで海のツアーなどしたい。100キロウォークに参加。クライミングもしてみたい。など

チャレンジしたいことのためにがんばっていることに話しが展開。今、考えている進路についても話が出た。

- ・好きなこと

好きなことを大事にして、好きなことを続けることで、大学も選んだ。

好きなことを続ける、高めるために、好きでないことにも努力できる

アウトドアが好き→スポーツ大学→カヤックの冒険する方の手伝い

大動物が好き→畜産学科のある大学へ→青年海外協力隊(家畜飼育)へ

- ・やってないことをやってみる

やってないことをやってみる、チャレンジすることで経験が増える。そこから新たに好きなことが見つかる可能性もある。

など、中学生と学生サポーターが自身の経験を踏まえ対話することができた。

④全体のふりかえり

以下の点について感想や意見を話した。

- ・よかったこと

来年もあったら参加したい、参加費用が安く得だと思う、やってみたいことができた、友達も誘いたい

- ・広報のこと

チラシを知り合いからもらったので友達を誘って参加した。学校ではチラシを見てない。

- ・来年に向けて

びわこ成蹊スポーツ大学では、サップ、カヤック、ウインドサーフィンなど琵琶湖でのアクティビティ、山での沢のぼり体験、屋外レクリエーションやテント泊など、大学生がサポートして体験できる。大学と一緒に企画を組み立てることで来年の継続を検討したい。



#### 4. 映画「ヒゲの校長」高島市上映会&アフタートーク

##### <目標>

100年前の日本で、聴覚障害者の言語である手話を守った大阪聾啞学校の高橋校長と教員たち、高橋校長の家族の物語である映画「ヒゲの校長」の上映会をとおして、高島市における聴覚障害者への理解、手話への関心を高める目的で開催した。

運営は実行委員会形式で実施。市内の聴覚障害者支援団体、手話サークル、関心を持つ組織などのネットワークを広げる。当法人は事務局的な役割を担い、実現を支援する。

##### <成果>

9月に上映会の開催について相談があり、試写会を経て実行委員会を設立を支援。手話サークル、市聴覚障害者協会、障がい者相談支援センター、個人など20の個人と組織がネットワークをつくることができた。

実行委員会では、事務局として実行委員会の調整、協賛金集め、経費の管理、高島市との交渉や各組織への後援等申請、当日スタッフ配置などを行うことができた。

当日は約450名の来場があり、多くの市民に映画鑑賞および主演の尾中友哉さんのトークを聞いていただくことができた。会場では滋賀県内の聴覚障害者就労所、当事者団体など5団体も出店され、来場者と交流された。

上映会終了後、実行委員会から6名が市長への報告を行うことができた。

高島市聴覚障害者協会には、情報誌での情報発信や市民活動フェスタへの出展など継続して支援をしている。

##### (1) 試写会と上映実行委員会設立

日時 11月9日(土)13:00~15:00(終了後、実行委員会呼びかけ)

場所 新旭公民館 多目的ホール

来場 45名

実行委員会 17名

- ・感想の共有、上映会時期と開催場所、予算など相談

##### (2) 実行委員会の記録

会議場所：今津東コミュニティセンター

|                 |                 |                                                                            |
|-----------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 第1回<br>12月10日   | 会場9名<br>Zoom3名  | 実行委員会に参加する各自の思い<br>会場と日程、観賞料について、                                          |
| 第2回令和7年<br>1月7日 | 会場10名<br>Zoom6名 | テーマ(メッセージ)について<br>共催・後援について、予算と協賛について<br>スケジュールについて                        |
| 第3回<br>2月6日     | 会場9名<br>Zoom4名  | 広報活動(イベント出展)について<br>上映会当日役割り分担について<br>協賛金集め、チケット販売方法について<br>県内団体への出店依頼について |
| 第4回<br>3月10日    | 会場10名<br>Zoom4名 | 当日スケジュールと役割分担の確認<br>会場配置の確認<br>当日配布パンフレットの内容について<br>協賛金・チケット販売状況           |
| 第5回<br>4月17日    | 会場10名<br>Zoom4名 | 決算報告<br>協賛者へのお礼について<br>残金の使途について                                           |



### (3) 上映会&アフタートーク

日時 3月29(土)13:30~16:30

場所 高島市民会館

来場者数 約450名

協賛者数 84名(個人、団体) 協賛金

出店者数 5団体

(一般社団法人滋賀県ろうあ協会、滋賀県中途失聴者難聴者協会、NPO 法人しが盲ろう者友の会、社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会湖北みみの里・びわこみみの里)

参加費 大人500円、高校生以下無料

(チケット販売所：たかしま市民協働交流センター)

その他 要約筆記、手話通訳、託児サービスを会場に配置した

広報先 市内小中高校、子ども園・保育園、学童保育、公共施設、協力店舗など

### 当日の様子





アンケート回答 181 名  
感想（一部抜粋）

すばらしい機会をいただき感謝を申し上げます。言葉には命がやどることを再認識させていただきました。手話は更にその表現に命をのせて伝えることのすばらしい価値を教えてくださいました。上映してくださり嬉しかったです。

尾中さんの成長のプロセスで初めて知ることがおもしろく、新鮮でした。これがリアルなろうの方の日々なのだと知りました。お父さんの自転車を磨く話は感動しました。「心のつながり」の大切さを学びました。「気づかい」（言われてやるのではなく）の意味が分かりました。

本当によい映画でした。当時、手話の必要性に尽力してくださった事がありがたいと思います。アフタートークの尾中さんのお話が、私はとても心にひびきました。ご両親が尾中さんの「きいちご」を分かりたいと車で向かい、さがし、伝わったこのような姿勢が、心の教育というものだと思います。ご両親、本当にすてきな方ですね。このような経験があり、この映画の大きなメッセージが伝えられたのだと思います。来てよかったです。ありがとうございました。

[illegible][illegible]

当日配布パンフレット

市内の手話サークルリスト、滋賀県内の聴覚障害者、盲ろう者関係の就労支援組織や当事者団体の紹介も掲載。